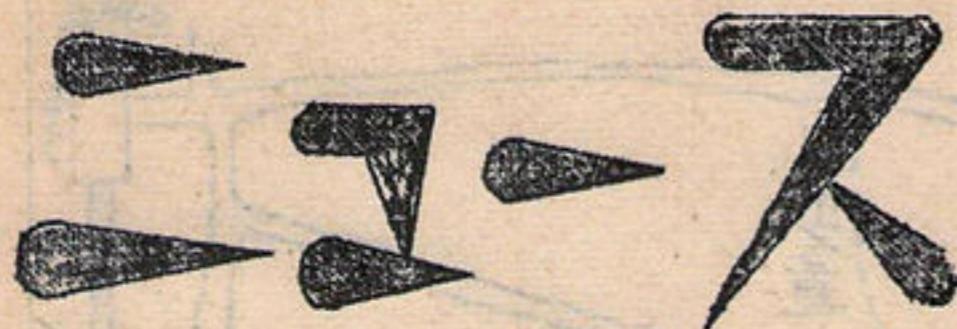


カ 80 号



昭和41年3月9日発行
S·H·C 横浜支部
横浜市中区初音町1-19(影山方)
編集者 関野昌

カ 12回支部山行

本部集中山行

奥武藏物見山

(375m)

4月3日(日) 日帰り(雨天中止)

打合せ 3月30日(水)

18時30分より 小町だんごにて

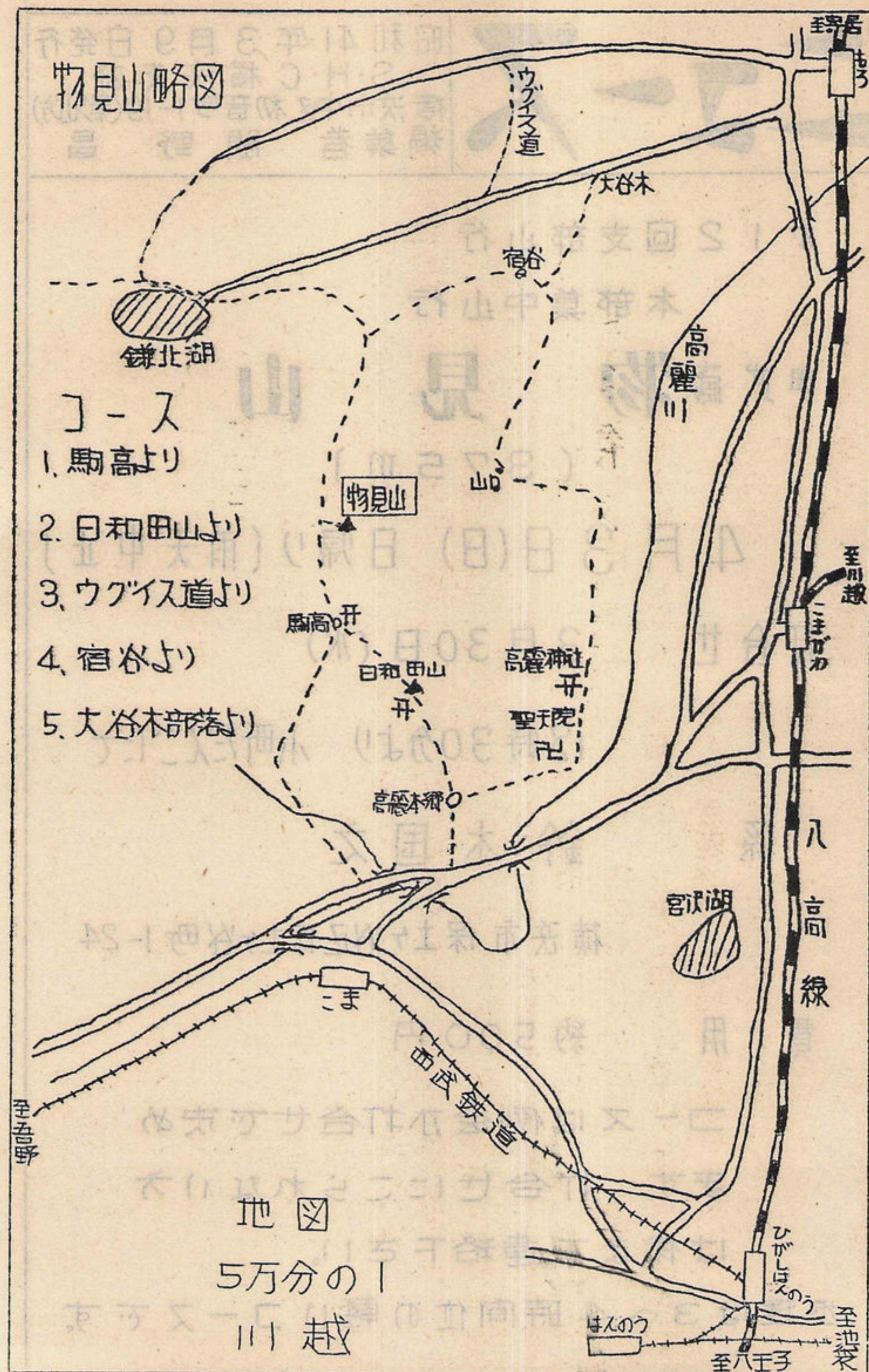
係 鈴木国之

横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷町1-24

費用 約500円

コースは例会か打合せで決め
ます。打合せにこられなの方
は係まで連絡下さい。

歩程は3~4時間位の軽いコースです。



土又 部 山 行 報

カ一八回 中里スキーハ(月19・20日)

参加者 熊谷幹夫(係) 小川竜利

鈴木国之 石岡康昭 本田美智子

相野谷喜世子 他2名

一日目 寒い上野駅構内に待つ事3時間、
寒風が吹くホームはつらかったが全員座れた。
清水トンネルを越すと雪国、^後中里に5時、
民宿の中新旅館に入り8時まで寝る。滑り初
めたのは9時頃、前夜未の新雪が良いコンディ
ションにしてくれた。まず直滑行、次に前制
動を練習し昼頃初めてリフトに乗る。

中里スキ場はリフトから墓あつて駅のすぐ
前にあるリフトを除くと滑走する距離も短く
傾斜もゆるい。

昼過ぎ斜滑行の練習。上ゲを曲げエッヂを
立て外傾する姿勢は難しく何度もこころぶ。最
後に一番高度のあるリフトに乗り、一本杉コ

ース」と言われているその中で柔なコースを
とった。マジ8米しか巾のない急斜面を滑る
のは難かしく、前に入人が倒れていると尻割動
と言うぐらりでとにかく下まで無事に下りる
事ができた。17時頃旅館に戻る。夕食后女性
を除く我々はナイターを楽しむ事にしてゲレ
ンデに向った。ナイターは3基のリフトが動
いてあり昼間と同じ様に大勢の人が滑つてい
た。空には星が輝き、遠く上越の山々がうつ
すらと見えライトに照らされたゲレンデが美
しい。雪面が氷り初めてよく滑るので急斜面は
こわり、21時に一日の行動完了。

二日目 昨日の疲れで尻と足、手が痛い。
8時にゲレンデに向ひ斜滑行の練習、日曜日
なので混雑がすごく雪の状態も悪くなり早々
に引上げた。15時05分発上野行普通列車に乗
車し帰路した。

44年度委員会報告

行事 報告 4月

。代表 影山一瓦芳
。委員 中山一重

。幹事会 木本国之
能谷幹夫

2月19・20日 中里スキーリゾート
2月8日 例会 出席者10名 婦人会館
2月23日 委員会 出席者全委員 小町だんご
3月6日 幕山・南郷山山行

行 事 予 定

本部会費切替の人には至急繰続手続をして下さい
3月30日 集中山行打合せ 18時30分 小町だんご
4月3日 集中山行 物見山
4月12日 例会 18時より 婦人会館

新 入 会 口 紹 介
あ わ か り

さ り

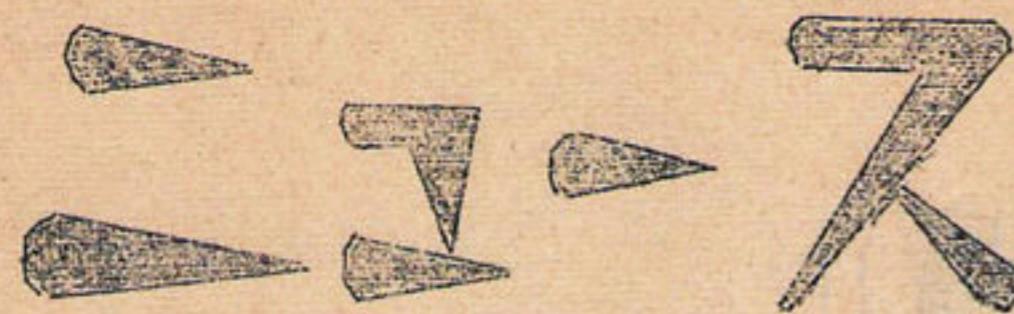
石岡 康昭

横浜市鶴見区東寺尾一六二

東芝寺谷厚生寮

ようしくお願い申します。

例会
4月12日(火)
18時
— 21時
婦人会館



第31号

昭和41年 4月12日発行

S.H.C 横浜支部

横浜市 中区初音町1-19(影山方)
編集者 金木國文

本年度山行計画決まる(前半期)

5月 愛鷹山 1泊2日 (係)影山
新緑と富士を見ながらの練走。

櫛形山 夜行日帰り (係)久保田
残雪の白峰三山をめぐる。

6月 大峰・吾妻耶山 夜行日帰り (係) 鈴木
小屋瀬と言われる大峰沼へ高山植物の入門コース。

7月 苗場山 夜行日帰り (係) 銭井
広大な湿原と無数の地氷めぐり。

8月 飯豊縦走 2~4泊 (係) 久保田
残雪とお花畠を訪ね東北へ。

丹沢 日帰り (係) 熊谷
暑い夏は沢登りで楽しめよう。

9月 浅間山 夜行日帰り (係) 石山
噴煙立るびく信州の名山へ。

西穂高 1泊2日 (係) 熊谷
紅葉の山、山頂からは北アルプスの連山が一望です。

第121回 支部山行

十里木高原から愛鷹山

5月1日(日)、2日(月) 1泊2日

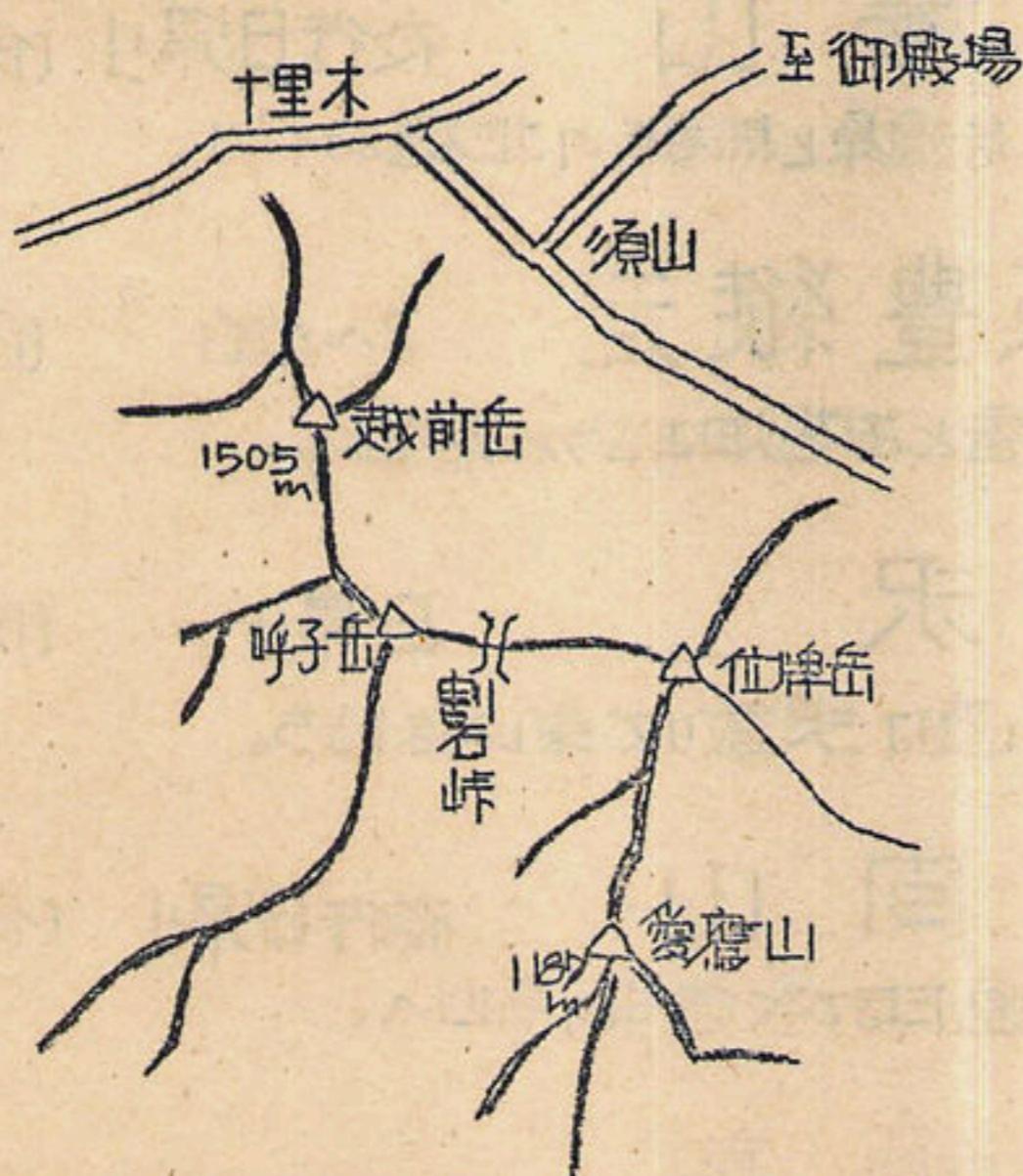
コース 横浜 → 国府津 → 御殿場 → 須山
 —— 越前岳 —— 呼子岳 —— 位牌岳 —— 愛鷹山
 —— 升出 —— 沼津 → 国府津 → 横浜

徒步 11時間

費用 800円位(交通費)

打ち合せ 4月27日(水) 小町にて 6:30から

係 景山元芳



地図

5万分の1
御殿場
沼津
20万分の1
静岡

至沼津

40年度下期 合計報告 40/10 ~ 41/3

收入の部

前期繰越金	2,376
会費	2,700
会押	1,100
(影山・中山・浅田氏)	
雜收入	140
41年度分借入	2,000
合計	8,316

前期繰越金 676円

支出の部

会場費(4回)	2,200
運賃費	2,050
アルバム費	200
印刷費	650
テント返済金(完)	2,000
雜費	540
合計	7,640

以上の通りです。

新ハイキングクラブ
横浜支部

お知らせ

△昨年度より支部山行に10回以上参加した人に記念品を贈ることにしています。しかし昨年は該当する人はいませんでしたが、今年は9月までの前期に、9回の山行がありますので大いにかせいで下さい。

△今月より新年度になりますので、41年度分の会費を納入して下さり、各自都合のよい方法で、分納でも結構です。会費未納の人には、次の月よりニュース等一切の連絡は致しません。御注意下さい。

尚昨年三月の総会で支部員は原則として、全員本部会員たることと決議されています。本部の会費切替の方、会員でない方は至急申し込み手続をして下さい。

支 部 山 行 報 告

オーニ〇回 本部集中 物見山

4月3日 晴

参加者 篠木国文(係) 久保田夫妻 中里

一久 高山美恵子 表井俊明

石山武 相野谷喜世子

コースタイム 東神奈川(ワニ) ハ王子(8.

34.3.8.47) 東飯能(9.27.9.4) こま(9.50.

3.10.15) 日和田山(11.5.11.10) 物見山(に

0.10.14.20) 鎌北湖(4.5.15.35) 毛呂(5.40

3.16.24) ハ王子(7.5.17.20) 東神奈川

横浜を離れる頃は空一面雲があり、寒い
天気(ガラガラ)が、ハ高線に乗ってコマに着くと
すづかり晴上がり、絶好的の行楽日向となつた。

指導標にしたがつて、町の中を通り橋を渡
つて日和田山に取り付く。のんびりと暖かい

春の陽を浴びて歩いた。畑には穂の花が咲き
、紫色のスミレの花が咲いていた。物見山
をへて鎌北湖にぬけるハイキングコースは特

に入が入ってきて、行列が山原まで続くと言
つても大げさでない程混雑し、さながらデパ
ートの階段を上へ上へと登る感じにはいささ
か驚いた。おちついで体を向もなく日和田山
頂に着く。物見山へは一担部落へ下りてから
登り直す。一等三角点のある頂は狭まい。遠
く露んだ奥武蔵の山々だけが静かに連なるつ
て見之こいた。

昼食后、集中の各支部の報告が初まつた。
井の頭、埼玉、相模原、千代田、台東、江戸
川、港、中央、品川、目黒、大田、城北、川
崎、世田谷、足立、などなど

参加人数二七五名、今年で八回目となるた
本部集中も年々盛大になる。下山コースは各
支部自由との事で我々は鎌北湖へ下った。
桜の咲く鎌北湖は見物人とハイカーでバス停
は行列が延々と続いていた。

来年の4月のオーディアはどの辺にあるか解
りませんが、年々大勢で行きたいものです。

の場所

例会だより

本年度前半の山行地が決定しましたが、がりますが、毎月多數参加して山行を盛り立て、いきたいものです。

6月の大峰、7月の苗場^{マツバ}、8月の飯豊はいづれもツツジやシャワナゲ、日光キスゲ、シナノキンバイなどの高山植物が豊富で花の開花期にぶつかるれば、すばらしい山旅になるでしょう。

例会では5月に巻戸山に行く事になったしましたが都合により愛鷹山に変更します。

十一二回山行

樹形山

5月19日(金) 前夜会

「保田治」又保田治

芦守鉱泉から入るコースは比較的乗に負上へ行けるとの事で今コースを調べています。詳細は次号のニュースに登録します。

行 古事記報 版口

3月6日 幕山・西郷山 参加7名(支音員5名)
3月9日 例会 出席者11名 婦人会館
レジ巡回(ルロウ)

3月30日 集中打合せ 小町だんご
委員会 全員 小町だんご
4月3日 本部集中 物見山 参加8名

行事予定

4月27日 愛鷹山打合せ 小町だんご

5月1・2日 愛鷹山、山行

5月10日 例会 16時より 婦人会館

例会
5月10日(火)

18時より
21時まで

婦人会館

才82号

昭和41年5月10日発行

SHC 横浜支部

横浜市中区初音町1~19(奥仙方)

編集者・影山元芳

才122回 支部山行

南アルプス 前衛

櫛形山

5月15日 (前夜登)

<コース> 甲府駅 — 芦安 — タキ沢 — ミネベリ尾根
— 唐松山 — 大平 — お花畠 — 祇頭 — 永室神社
— 長沢新町 — 甲府駅

<徒歩> 約 12 時間 <地図> $\frac{1}{50000}$ 較尺

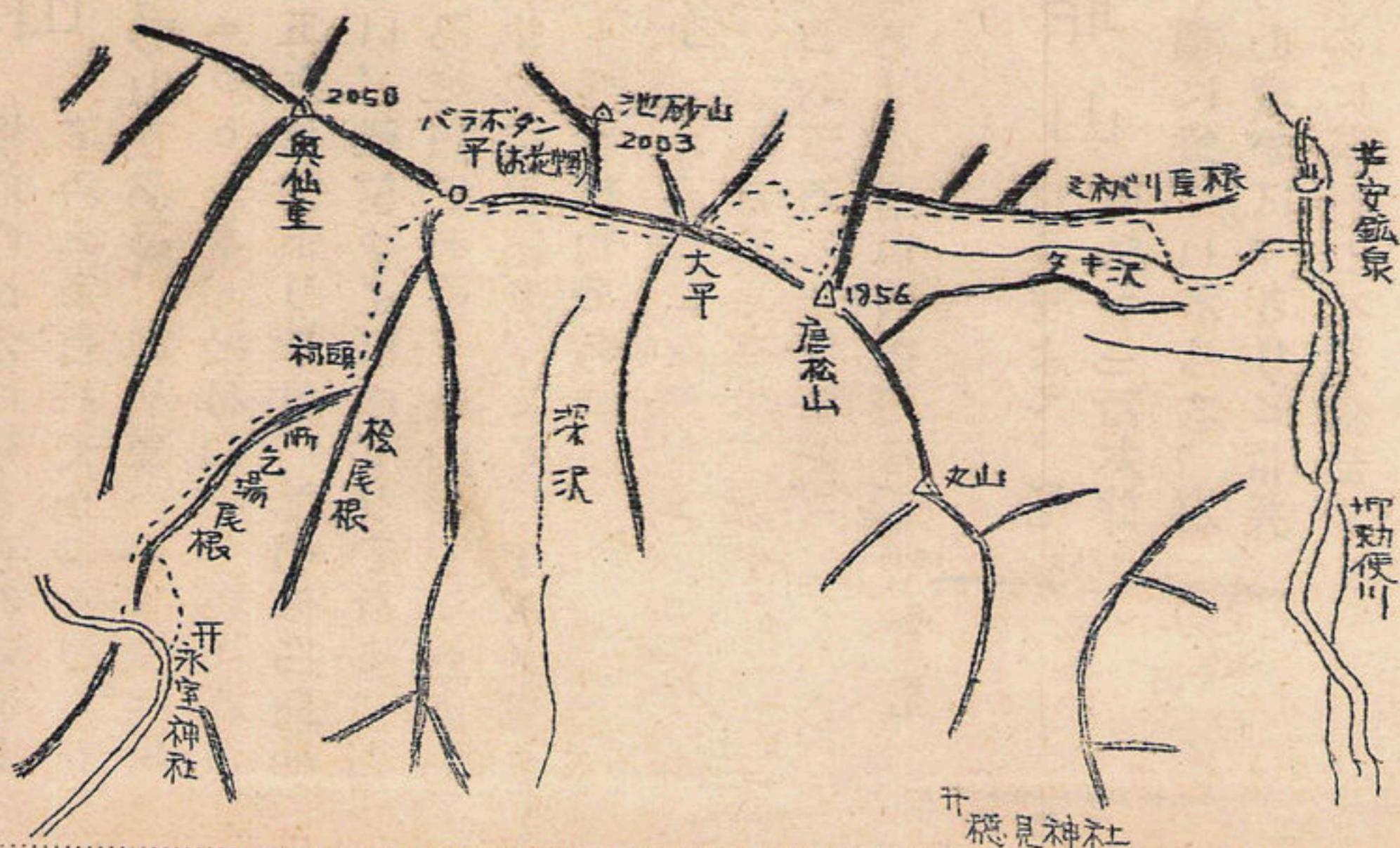
<費用> 約 1500 円

<集合> 5月14日(土) 21:30分 横浜駅 #7・8本一丁

<装備> 食当2食・雨具・ライト・他一般ハサウエ用品

<係> 入保田三治 〒221区東丘68

山行打合せは行ないませんので参考希望者は(係)宛申込を
こと。雨天中止です。



第123回 支部山行 上越の山

大峯・吾妻耶山

6月19日（前夜登）

合ノスル上野駅（上牧駅）—小和知—
ニ本松—大峯沼—大峯山—吾妻耶山
—札岩—水上駅（上野駅）

へ徒歩約6時間

へ費用／一二〇〇円

へ集合／6月18日（土）20時20分（飯塚）

横浜駅7:30番不^レむ座席下

へ装備／弁当2食・雨具・靴一般ハイキング

田品

へ係／鈴木国之

保土ヶ谷区保土ヶ谷町1の24

櫛形山

山がこの櫛形山である。奥仙童（ニロ五ニメ）、裸山（ニロニメ、池砂山）、および唐松山（一ハ五六メ）よりなり、そのうち奥仙童が最も高い。眺望がよいばかりでなく、山頂は一面のあ花畠である。登山端から西高山西の植物が非常に豊富で、ここにアツメハの山の特記すべき植物である。

大峯沼

丁小屋群」と称せら

れる八峰沼畔、深

叢層より成る小沼で、モウセンゴケや浮島があり公園風の幽邃な環境である。

吾妻耶山

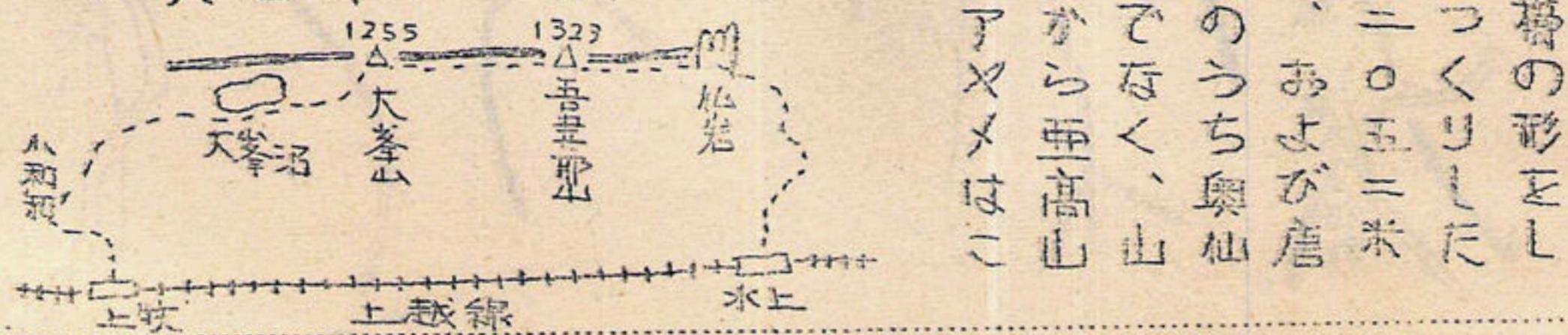
は展望よく、谷

川岳から万太郎

仙ノ倉、平標に繞くわゆる「谷川連嶺」の山波がはつきりと指矣

でき、その上に苗場山や茂倉岳が
高山植物の名前を覚えながら歩こうと思ひ
ます。

八和知



金時山と愛鷹山 5/1 ~ 5/2

参加者、影山正芳(同)、篠塚幹夫、相野裕喜世子、

石山武、石黒康雄、石井春男、町田

庸子、中山一重、

特別参加、(埼玉支那) 塩川喜久子、荒巻彰

子、田村紀代子、

(埼玉支那) 横口江美子、

愛鷹山縦走は一日半の行程で十分なのだが、横浜午後登ちではもつたいくらいと立うこと

朝立ちし、途中、金時山に寄つて行くこと
金時山登山口の草標に尊かれ、矢倉沢峠への少し急な登りを行く。一足毎に仙石高原が眼下に龜がり箱庭のような眺めである。20分ほどで時の茶屋につく。この小屋はカメリツクトイレ一回10円也とか。

峰からは山頂めがけての急な登り、一汗かく

頂には山頂につく。明神、明星へのなだらかな稜線が美しい。

右手には丹沢の山並がほんべりとみえる程度で残念だ。左手の丸岳の向うには明日登る愛鷹山の相似峰もほんべりとみえる程度で明日の天気が心配される。一二三峰の山頂には、坂田の

にした。特別参加の4名とは列車の中で落合つた。

小田原で連絡なくバスの便があり、循環まで行く。車掌の「金時山へ行く方はここで降りて下さい」と云う声に我々は少してれくれた。

<コース・タイム>	
5/1 横 湾	⑥ 6:05
小田原	9:15 ~ 9:20
仙石原	⑩ 10:00 ~ 10:05
金時山登山口	10:10
矢倉沢峠	⑩ 10:35 ~ 10:45
金時山	⑪ 11:30 ~ 12:25
乙女峠	⑫ 13:20 ~ 14:15
乙女口	14:35 ~ 14:45
御殿場	⑬ 15:00 ~ 16:00
須 山	⑭ 16:30
須山温泉館	⑮ 5:45
登山口	6:10
山荘入口	⑯ 6:30
愛鷹山荘	7:20 ~ 7:30
富士見平	⑰ 8:45 ~ 9:05
越前岳	⑱ 9:25 ~ 9:30
今宮・呼子岳	⑲ 10:05
呼子岳	⑳ 10:15 ~ 10:20
割石峠	㉑ 10:35 ~ 10:40
鎌 峠	㉒ 11:00
(差道終り)	㉓ 12:45 ~ 13:15
位牌岳	㉔ 14:20 ~ 14:30
材木裏頃場	㉕ 16:05
下知田	㉖ 17:20 ~ 17:45
三島駅	㉗ 18:30 ~ 18:52
種差駅	㉘ 20:13 (急行便)

公爵を祀つた木祠があり、その前に金時山荘がある。名前にはサインをしたが、城北のきせは日本、横浜の男性は田舎者とて太集中。茶店の金時娘、いざ金時あゆさんに敬意を表した後、乙女峰に向う。

カヤトの長尾山を過ぎ、正面のを店主の丸巻を眺めながら峰に下る。学生が大勢たまろしていて大目にさわつている。この峰からの富士は絶品なのだが、何せ曇天のため眺望なくその玄大なる裾野が少し見えるだけ。小屋の裏でコチラスを楽しむ。新殿場に下つた。

新殿場駅より愛鷹山荘の登山道

須山村の清水館に着いたら中山郷からの電報が来ていた。21時頃TAXIで来るとか、続員12名うち女性7名のにさわい。

4時30分起床。

はつきりしない天気だが午前中は何とかまつたろうと出発する。

十里木街道を愛鷹登山口まで行く。途中登山

毒を乗せたTAXIが我々を抜けて行った。登山口の指導標に従い左手の林道を大展望に行く。20分程行くと、右から廻求があり愛鷹山荘入口との卓標がある。カラカラした足場の悪い道を下り、邊堤壁といた少し上で左側の尾根に取りつく。バスをこぎながら30分程度登つた前で腹を巻くように行くと、山荘の前に出る。山荘のすぐ近くに唯一の木場があり、畳をうるおし一息入れる。山荘は荒れてはいるが寝具等をやらぬることはない。

山荘の裏手より登り、棱線に出るがガスがかかり遠望はきかず、ただ黙々と歩くのみ。大展望台と云われる富士見平に立つても何も見えず、時折り切れの木の間に今日は、今歩目てきた稜線と黒岳がかいまみえるだけ。セセ繋つた尾根を急登するヒー五〇五郎の越前岳につく。樹林の中のためビガスも濃くこの山塊最高峰はあまりバツとしない。

山頂から大きく下る。足元に注意しながらセ尾根を行く。全く眺望もなく、ガスが上下する中を行く。霧の稜線散歩と云う所か。越前・呼子岳の中程でついに雨となつた。たいした雨ではないので様子をみながら先を急ぐことにした。

呼子岳で小休の后ヤセ尾根を割石峠に出る。峠から須山大次を下る道が左に、右には割石次が入つていて大分悪そくなつめである。雨も小雨でたいしたことなくなさうなので、鋸岳を越すことにして前进する。一三〇〇mのピークを乘越すといよいよこのルート最難峰である。取付が少し悪いが15m程でたりしないことはない。こゝを登りキレットの上部に出ると四峯の東側を鎌をたよりにまくようになり、五峯も針金をたよりに東側をまくと、悪場も終り稜線に立つ。

ここで大休止とし、昼食をとる。さすが悪場通過に一時間半以上の緊張の連続に皆疲労がみられる。さすが疲労は隠せず足どりが重い。位牌岳の手前でさしかかる頃雨が大分強くなり肌まで感じるようになつた、とにかく

く切れてこのルートの直登高は容易でないことを現わしている。ここから少し下りぎみに三峯をまくと、キレットのコルに向つてオーランセを直登するようになる。何れも針金が付いているので多少は安心させられる。この少し手前にチムニー坑の割目がありこの方が樂である。取付が少し悪いが15m程でたりしないことはない。こゝを登りキレットの上部に出ると四峯の東側を鎌をたよりにまくようになり、五峯も針金をたよりに東側をまくと、悪場も終り稜線に立つ。



七重まで頑張らねばと皆黙々と歩く。

山頂まで頑張らぬばと筋黙々と歩く。
位陣岳での休息もそこそこで、須山に下る
ことにした。縦走は又の残念で接線を舍て
する。この下りは割と歩きやすく、よく踏ませ
たヒートである。満糧遍し高度をぐんぐん下
り一時面半程で林木集落場のある前に出た。
ここからは中古い道を今をさと、鷲岳に重い
足をひきすりながら、下畠田部落に出た。
静落の人からニ島駅行のバスがあることを聞
きほつとした。疲れた体をバスのシートに投
出し、帰途についた。

△反省△

この山行に対し、條の手テ露で参加された方に々に御迷惑をかけ申し訳ございませんでした。今回の支那山行については十分注意する

又、皆様の絶大なる御勘力により、ナーナウ
ークもよく無事山行を終ることが出来ました
事を紙上表かりて、厚く御礼申し上げます。

40年慶 例會山行一覽表

40年度 例会山行 但人参加表

4回

金木国之

石山 武

影山元芳

小川竜利

久保田治

石橋康昭

* 稲野谷喜世子

脊藤興司

糸野条吉

本田美智尊

熊谷幹夫

坂次和子

中山一重

奥野 昌

中里一久

河野の人は途中

入静着です。

高山美恵子

山 行 に 参 加 す る 人 に お 頼 い

例会山行表を作成してみました。まだまじ例

◎ 自身に合った山行を選択すること。もし良くな

らない人は係に相談すること。

会山行の実勤人員が少ないうちです。今年は

◎ 山行に参加する場合、一応各自でもその山

を調べておくこと。

個人参加表でも多い人との差が大きくなる

◎ 山行前夜は良く寝て、当日寝不足でないよ

です。せめて平均4~5回は参加したいもの

うにすること。

です。金木氏は~~は~~1回不足で規定の10回に達せず、記念品をもらひませんでした。今年度

◎ 山行前に体の調子が悪かった人は、良く考

は大いに頑張つて下さい。

相野谷、石山両氏は途中入部ですが張切つて

山行に参加してくれます。努力賞ものです。

他の人も大いに思って下さい。

ヨコハマ

カラーフィルムを斡旋します。（影山）
35mm R. 20枚撮 六〇〇円

36枚撮 丸三五円

その他（市価より安いです）

今月より、ようすヨーナーを設けます。

毎月求めたいもの、やりたいものがありましたら、ニュースにのせます。ハガ

キに書いて毎月25日まで車△前に連絡して下さい、次の月にのせます。

行 事 報 告

4月12日 例会 出席者14名 於婦人会館
4月27日 オリジナル山行打合せ 於小町だんご

委員会 全員出席 於小町だんご

5月1・2日 箱根金時山ヒ愛鷹山縦走
支部員8名、特別参加4名

行 事 予 定

5月15日 オリジナル山行、櫛形山（係）久保田
5月11日 本部支部合同委員会

6月14日 例会 18時より 於婦人会館

6月19日 オリジナル山行 大峯、吾妻耶山
(係) 鈴木

例会

6月14日

(オフ火旺)

18.00 ~ 21.00

紅葉坂
婦人会館
小会室

ニュースの内容等について御意見を頂かせて
下さい。又、しだれ号は10周年記念にふさわ
しいものにしたいと思います。協力の程を。

支部山行

昭和41年6月14日整行

SHC 横浜支部

横浜市中区初音町1-19(影山ガ
館) 著者 影山元芳



第124回 支部山行

苗場山

7月3日 (前夜登・日帰り) (雨天中止)

<コース> 越後湯沢—板川—如意ヒュッテ—神楽峰—
苗場山—神楽峰—如意ヒュッテ—板川—湯沢

<徒歩> 7~8時間

<費用> 約2000円

<集合> 7月2日 20時、横浜駅 1・2番線木一ム中央(地下道上)
乗車予定列車 時 分 上野駅 行

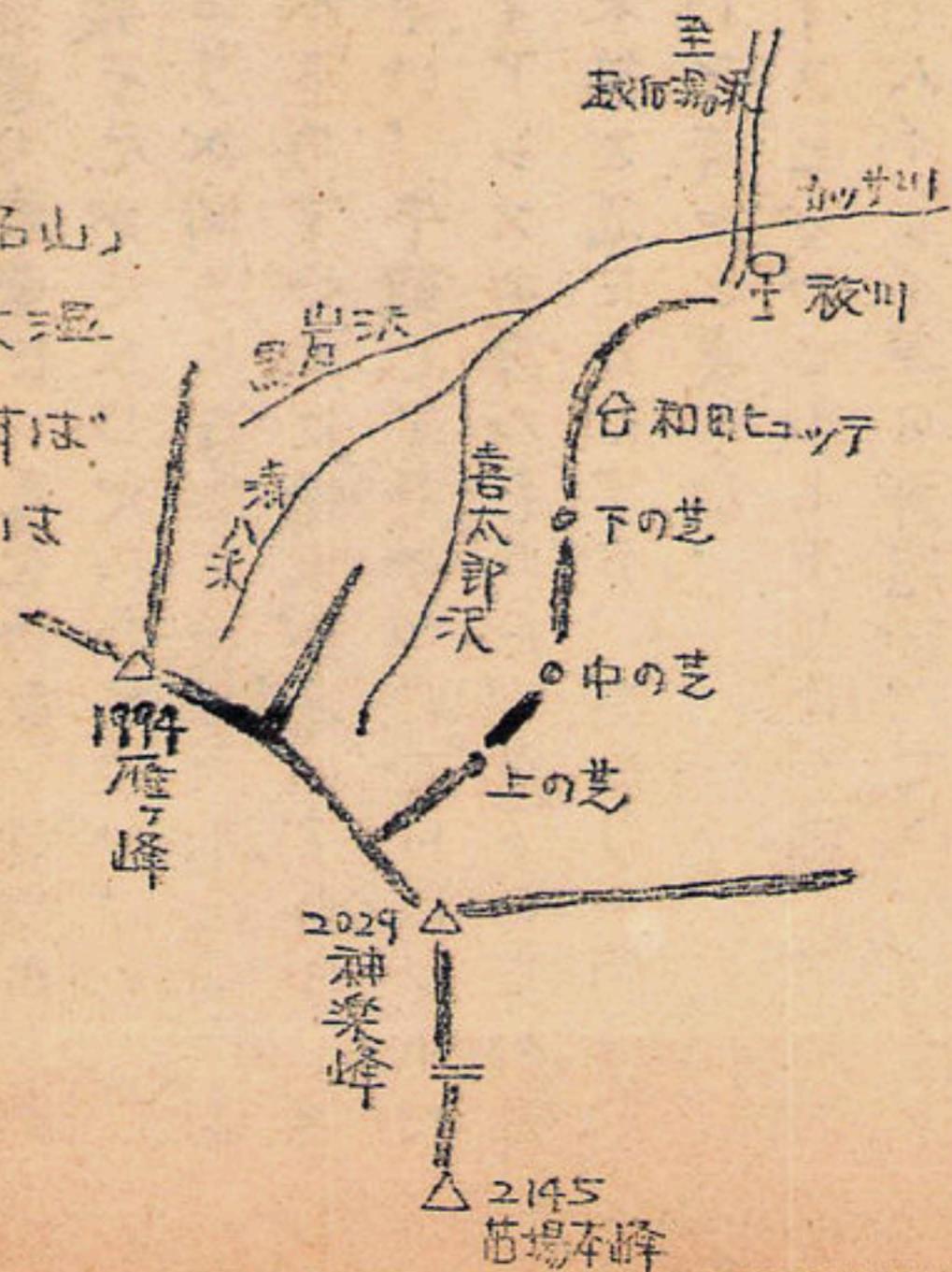
<装備> 弁当2食・雨具・ライト・その他一般ハイキング用品

<係> 浅井俊明 横浜市中区山手町206 (tel 64-4432)

山行についての打合せは行ないませんので、希望予定者は係まで
申込んで下さい。

苗場山は深田久彌著「日本百名山」
の一つに入っています。頂上にある大温室
とそこに咲き競う高山植物のすばらしさは
何人をも引きつけずにはおません。

是非多數の方が参加して
楽しい山行となることを
期待しています。



オ123回支部山行

大峯・吾妻耶山

6月19日(前夜登白帰り)

ヘ保ル 鎌木国之

保土、谷区保土、谷町1の24

ハ拿倉ル 19日(土) 20時20分 嵐中

横浜駅7・8番木一ム陸橋下

尚本山行の詳細は、ニコースオ122号を参照下さい。

オ122回山行報告

樹形山 5月15日

参加者10名、久保田治(し)、鎌木国之、中山一重、中里一久、浅井俊明、相野谷喜世子、奇穂清、石山武、石井春男、池田吾郎、他5名

芦安鉱泉前の河原より、これから登山路
を眺めると尾根がのしかかる様に覆いかぶさ

り走る悪日やらぬる。トップとラストにひさ
ん。毎日花動隊にさ。王西君とオシターキ次
めて会発。箱根稲に徒り岩園館の手前横から
尾根に取付く。種々夏花咲く道はじぐざぐに
登り、下から見たよりは樂だ。無風で全く暑
い。一面低くたぬこめる雲の中でこれから登
る方向だけは青空がまほゆい。バスで見えか
く出する夜又神峰方面に虹が美しくかかる。
一時間ばかりで平らな所に出ると今度はやわ
らかな泥道の登り。變化のない樹林のため
夜行での寝不足がたゞり、べにうと眠り。
案外あたりが明るくなると豊林署小屋前に懶
出す。小屋のすぐ上に清水が湧いている。冷
くてうまい。予期してなかつただけにそれが
砂漠のオアシスの様なものだ。暑いのため残
り少い木筋を満てんにする。あたり一面唐松
が葉吹いて青々と美しい。

一登りするとやつと少し下りになる。そこは
湿地帯でベイケイ草の群落だ。こゝからまた
森の中の登り、ジクサウになだらかな道であ

41年度、本部山行（7月12日）計画表

（◎印、横浜支部担当山行です）

7月3日	白毛内・朝日岳	10月2日	登谷山牧場	12月4日	
10日	荒崎シーサイドハイク	16日	那須高原カメラハイク 湯ノ丸山	12月10日	忘年山行
17日	大岳鐘乳洞 メリーハイク	23日	日光・小田代原 大菩薩嶺	高柄山	
24日	未定	30日	日光大真名小真名子 入笠山	メリーハイク	
31日	会津駒ヶ岳 ②南ア・駒ヶ岳・仙丈岳	11月3日	日光大真名小真名子 ヘンクシリーズ メリーハイク	12月18日	
8月7日	妙高山	14日	大福山		
21日	山田牧場・笠ヶ岳	28日	石狩スキーリュージュ		
9月4日	④丹沢クマハネ 日光・太郎山	29日	高尾山迎光	12月25日	
11日	猿次郎岳	6日	未定		
25日	一等三角点 小金沢連峰	13日	静かな峰を求めて 扇山		
18日	未定	20日	霞ヶ岳 未定		
27日	メリーハイク	23日	ヘンクシリーズ		
4日	奥武藏高原 湘南二子山 寒桜山	20日	未定		
12月4日		1月1日			

櫛形山コースタイム

甲府駅 ④ 4:00 || 芦安岩園館 ④ 4:40 5:50 40
| 営林署小屋 ⑤ 8:15 5 8:30 | | 唐松山①
9:05 | 9:30 | | 池砂山 ④ 10:25 | 10:35 |
祠平 ④ 10:55 | 11:15 | | 祠頭 ④ 11:30 | 11:50 |
| 木室神社 ④ 12:55 | 13:10 | | 平林バス停
④ 13:30

本部・支部合同委員会報告

去る5月11日、東京中央区立新富町会館にて委員会が開かれ、当支部より影山・鎌木兩氏が出席しました。

1. 41年度後半の山行について、別項の如く決定一まとめたが、横浜支部奥尻のものは次の二件です。皆様の絶大なる御協力をお願いします。

7月29～31日 南アルプス

駒ヶ岳と仙丈岳

8月28日、丹沢フズハツへ往く
丹沢は本部支部合同山行です。

2. 三水会担当の件について

3. 東武主催、長瀬バスハイクについて、6月18～19日、7月16～17日、8月13～14日の3回受持つことになりました。会員でリーダーを受持つて下さる方がありますたら、影山まで申し出で下さい。

る。霧の中の登山道はサルオカセが不々に一杯やらき、新緑の草花とマッチして幻想的だ。西洋の童話の妖精とはきつとこんな所に住んでいるのではないかとさえ思ひせる、こゝはナルヘンの世界だ。

登るに従い、真上だけ青空不迄ボリ唐松山へと出る。最早広大な雫形山々頂の一角である。こゝからアヤメ平にかけては、まさにプロムナードコース。南アルプスの山肌が残雪をつけて、厚い雲の向からかいも見られ晴れていればさぞかして思われ残念だ。アヤメ平もまことに気持ちの良い高原だ。天気さえ良かつたら昼寝にもつてこいの街だがこの天気ではと早々にスタンバイ。奥仙童も割愛して一日散に下る。濃い雲が低くたぬこめその中を下るので何処まで下ると終りになるのか皆自見当がつかない。カスの中から未室神社の屋根が見えたり時は木ツトした。帰途新ハイサービスチエンの赤石鉱泉で激しい山行の汗を拭り今日の良き山旅の終りとした。

とお願い

お知らせ

合せを行なつていただきましたが、今后は打合せを行うか否かはその時の係に一任することになりました。しにがつて日帰り山行の場所、ニュースの計画欄には

集合時間及び列車の指定をします。

尚、一泊以上の山行については従来通りで

2、部報について、

今年は支部創立10周年に当ります、幾多の苦難な道程でしたが早いです、今秋10月頃に、(した)行(10周年記念)を毎月していこ考えていきます、皆様の卒業を期待して

います。

3、支部山行アルバムについて、

10年のあゆみを記録するアルバムに写真が不足してります、支部山行に参加された方でネガをお持ちの方、例会の時にご持参して下さい、すぐ印返します。

行事報告

5月10日	例会	於婦人会館	出席17名
5月11日	本部支部合同委員会		
5月15日	オ12回山行	梯形山	参加10名

行事予定

6月12日	オ13回山行	大峯・西蓮耶山
6月29日	オ13回山行	大峯・西蓮耶山

7月3日	オ124回山行	苗場山
7月12日	例会	18時より

於婦人会館

例 報

7月12日

(火曜日)

18:00 ~
21:00

紅葉坂
婦人会館

会場

昭和41年 7月 12日 運行

SHC 横浜支部
横浜市中区初音町149(新方)
編集者 鈴木直之

アンケートの集大綱 (中西義夫)

- (1) 10周年記念行事について
 (2) どしたる行事を行なつたら全員が喜しめるか
 (3) 集中へワ)・キャンプへニ)
 (4) 普通の山行へシ
 (5) 集中、リレー競走、チャマン
 プ等を行なうと何處が何処で
 (6) 丹沢(ワ)・氣父(レ)
 (7) 高原キャンプ(エ)
 (8) 集会について
 (9) 日時、場所について
 (10) 現行可ヘシ。時刻厳守
 (11) 駐留について
 (12) 明るく楽しい会合にしたい。
 (13) 告白レリ。良い
 (14) 出席者次第

(1) テーマについて

(2) 山の知識。歌の練習

(3) 運行が良い

(4) 自己紹介は中ほどで

(5) 山行について

(6) 程度及び雰囲気について

(7) 現行でよい。巾広り山行

(8) 日帰り山行も・みんなど楽しむ山歩き

(9) 歩行5日以内千m以下の山を

(10) 高原歩きや海も

(11) 計画についてこの詳細説明は集合で行うべきか

(12) やるべきである。会所で打合せ

(13) くどくあるうちに満足

(14) アンケートをひいて出してこられる人は早めに出して下さい。

支 部 山 行 報 書

オ一二四回 苗場山

参加者 ク月う日 畳のち小雨
久保田治(筆)、金木國文、

石山武、石井春男、

コースタイム 上野(6.50)湯元(5.50)与

下ノ芝(8.40)中ノ芝(9.20)上野(10.10)
40ノ上ノ芝(9.50)神楽峠(10.10)

苗場山(11.50)和田小屋(3.20)3.20
板沢(4.20)湯元(3.20)上野(2)

51) 東京(2.15)

『苗場』行バスで終点の板沢下車。板沢を
遠に広い林道を少し歩くと苗場原があつて
右の細い道に入る。西側にすきスズのしげる
道を和田小屋へと歩く。空は相変わらず暗く、

山々はすっかりガスに包まれているので、晴
れた日の歩き初めての頃の朗らかな正ぐれい
。暗いブナの道を出ると和田小屋。朝食をと

水をためて登りにかかる。下ノ芝、中ノ芝
峰に着く。オオバキスミレの緑色、シラネア
カモの紫、ビンクのチガタナトリなど。お花
畠へ一気に下り、竜巣ニ白駒を登りきることこほ
右山の一角。遙か處のやきのさすの車に
一等三角旗を見つける。

時々甘人が切車ると店は温泉の中に廊下と
北鶴が現われる。その北鶴をあざめぬがら
周囲4輪もあると語る広大な温泉の片をまに
天幕でも張って懸日が過ごして見事に見舞に
そそられる。大きめ雪田の下の温泉にはイワ
カガミやイリイナヨウの群落、ワタスゲに良
くにモロヒ花が咲き乱れて美しい。

た。



支 部 山 行 報 告

セーニ三回 大峰・吾妻耶山

6月19日 小雨のち曇

参加者 鈴木国立(係)、久保田夫妻、

奥野昌、表井俊明、石山武、高山

美恵子、石井春男、相野谷喜代子、

北田姉弟、佐次幸郎、

他6名

コーススタイル 上野(3.58)上牧(4.22)4.40)ニ本松(6.38)6.35)大峰沼(7.10)8.00)大峰山(9.10)9.40)吾妻耶山(10.45)仙岩(11.00)らわ)水上(11.15)16.50)上野(19.35)

先是隊8時上野着。上越最終列車、「新潟行」の行列のトップにあらび座席を確保。上野

橋内は星雲へ行く、若い女性、がめ口。

上牧を下りると大峰沼方面のハイカーが戻ったより大勢いたのに驚く。小和知郡蔵へ歩き初めると例によつて例のものが降つて来る。さくまく傘の恩恵にあづかる。一本松、二

木松を通ぎカラマツ林になると、もう大峰沼。雨は止つたがガスが深くせつなく、多くの導島もツジ草などの水草達も、あの美しい花はまだウ群だ。しかしツツジの赤や沼畔に咲いてるにアヤメ、ショウブの紫と黄色だけは周囲の臨り風景とは対称的にあざやかだつた。

大峰山へは尾根通りのコースを取り、ツツジの咲く登り下りとくり変えし道がら山口の鐵塔があるピーコクを過ぎると山頂へ着いた。100m程下つて登りがえすと吾妻耶山へ10分着。入休止とばかり風寢をしており、向日月がの食事をとる。期待していむ仙岩への尾根道のシマワナナギは残が千びくほどすでにささががガツクリ。

裏の中にそびえる仙岩はまさに鬼城。裏のオペリスクや金峰の五丈岩を望むせる。途中にはクサリがつりみて守衛口が下りに苦労している女性もいた。こ崎向余りで湯の町、水上に着き始辻の急行で帰着した。

おわび

8月山行に飯豊綾夫、がありましたが、係の都合で中止します。

お問い合わせ

10周年記念の三ツの原宿主手に出して下さり、

新人紹介

石井 春男 横浜市戸塚区桜葉町563

アサヒ製作所秋葉寮内

町田 審子 横浜市保土ヶ谷区鎌谷町

57の6

近次 幸郎 横浜市金沢区六浦町

4832

池田 吾郎 横浜市南区鶴見内

この187

行事 報 告

6月14日 例会 皆席着16名 於婦人会館
6月19日 おめで山行 大峰吉連耶山
参加12名

7月3日 おめで山行 苗場山

7月6日 委員会 木町だんご 全員
参加4名

行事 予 定

8月9日 例会

7月29・31日 本部山行 南アルプス・仙丈岳

前婦人会館

8月 9日

(火曜日)

Pm 6:00
5
9:00

婦人会館

オ125号

昭和41年8月9日発行
S.H.C 横浜支部
横浜市中区初音町1-19(第18)
編 章・影山元芳



オ126回 支部山行（本部山行担当）

丹沢・タスハツ

8月28日（日曜日）

＜コース＞ 大秦野駅 = 菩提 = タスハツ = ニイ落
= メビツ峠 = 大秦野駅

＜費用＞ 約600円

＜携行品＞ 弁当1食・雨具・ラジカ

＜集合＞ 28日 大秦野駅前午前8時、農産
横浜駅相模改札口 時

＜係＞ 熊谷幹夫

横浜市港北区大曾根町585 花沢方

本部山行担当なので多数の参加を希望します。

久しぶりの丹沢の歩きです。初心者向きの歩きです
ので新しく支部に入られた人はぜひ参加して下さい。

参加希望者は筆まで申込んで下さい。

本山年賀総論へ新ハイキニカラにまのつています。

告 知 板

夏山の飯豊山は種々都合により、
中止となり参詣を予定されていた方
々には大変申し訳なく思います。
今后の山行にはこのようないことが無
いよう、山行地を決めたいと考えま
す。皆様の御協力をお願いします。

行
事
報
告

7月12日 例会・出席者17名 於婦人会館
7月25日 本部山行 文部参相3名
東アルプス・仙丈・駒ヶ岳(9名)
8月5・6・7日 飯豊山 保育合にあり中止

行
事
予
行

8月9日 饭会

8月26日 ￥126回山行 丹天ヶ原へ来

9月14日 例会

於婦人食譜

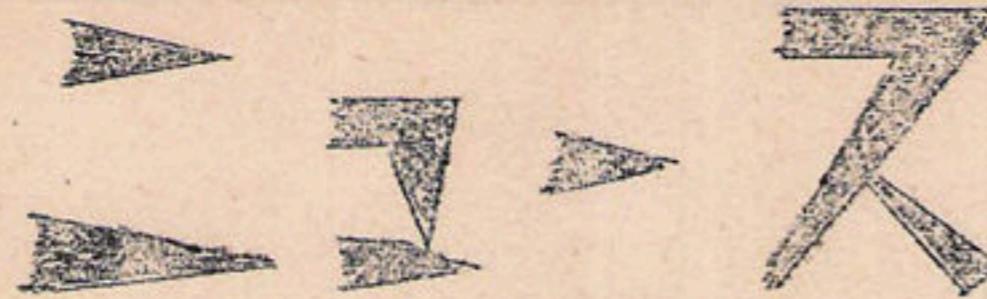
10周年記念特集の部類、して、17号發行につき皆様に原稿をお願いしてあります。が、毎度のことながら集りが悪く困つています。筆のアンケートによりますと、大方の人があなたの10回の奇報發行を望んでいます。皆さんからの原稿がないと發行出来ませんので、絶大なる御協力の程を。

10周年記念行事は7月の集会にて、12月に行つた年山行と一緒に年次で行うことに決しました。12月4日（オ一日町日）です。全員参加されるよう頼ります。

9月の集会は会場の都合でさつ水曜日と
なっちゃう。西園寺の夜にさうしてやります。
少佐大尉田代部會がつた方までの機動を
出しここからやなこみうへやう。

例会
9/14
水曜日
18時～
21時
婦人会館

オ85号



昭和41年9月14日 登行

SHC 横浜支部

横浜市中区初音町1-19(影山方)
飾 築 鈴木国之

後半期の山行計画決定!

10月 大真名子・小真名子 夜行日帰り

10月23日(日)

[係り] 中山

紅葉を見に日光へ出かけます。林道のモミジや
オガツマドなどすばらしく色づいています。

11月 浜石岳 曰帰り [係り] 長井

11月20日(日)

東海道線に率り静岡の山へ行きます。みかんが色づき、
頂上からは逆せに広る駿河湾、新雪の南アルプス、富士など。

12月 10周年記念山行・丹沢 前夜発 日帰り

12月4日(日)

10周年記念行事です。全員参加で盛り上げましょう。
忘年山行を諒る者が、翌日はどこかの頂上へ集中します。

1月 大野山 曰帰り [係り] 中山、鈴木

1月8日(日)

新年初山行にのんびりと丹沢へ。本部山行になるかも知れません。

2月 スキー [係り] 熊谷

白銀の山々を大いに観察しましょう。

3月 未定?

良い所考えて下さい。(どこに泊るか決めておきます。)

第128回 支那山行

三井山 (2542m)

9月 17日(土) 18日(日) 夜行日帰 (雨天中止)

コース 横浜 → 上野 → 石尊山 → 前鋒山
 舊邊道分 → 美岡山 → 峰茶屋 → 上野

徒歩 1時間

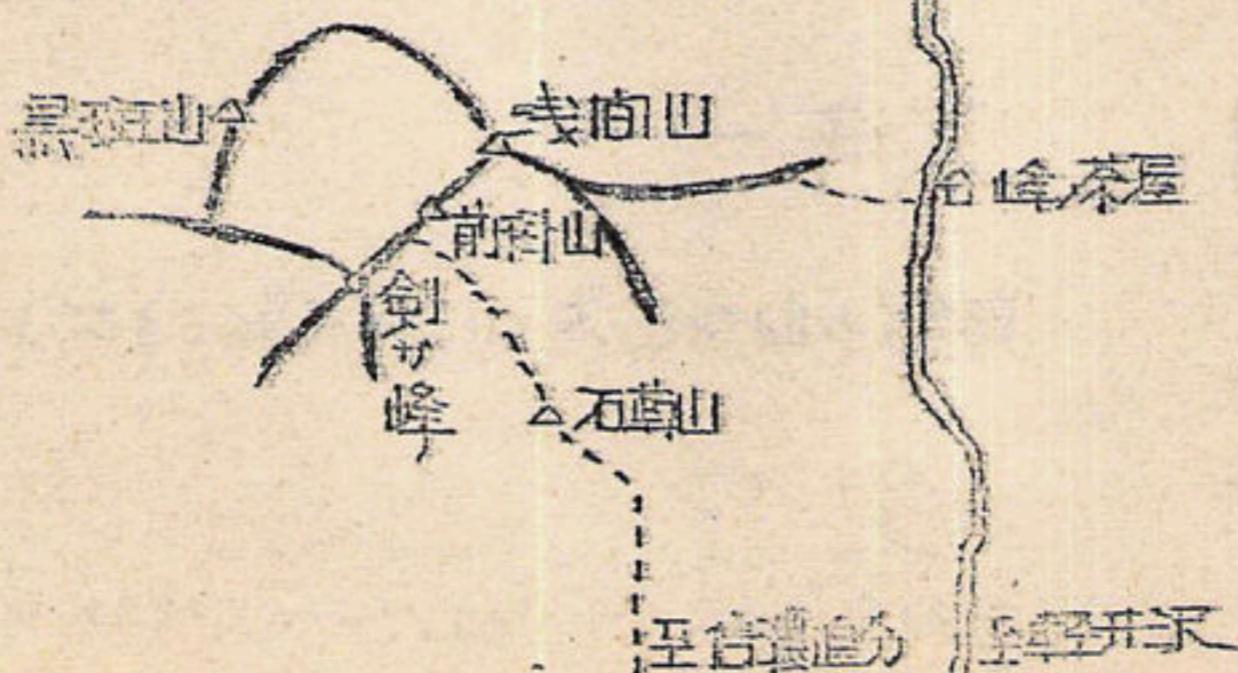
費用 1800 円

携行品 牛糞之食(軍用), 雨具, 防寒服, 水筒, 燃料, その他

集合 9月17日(土) 横浜駅 7:30 駅前木古地下道上。
 (JR横浜駅改札口より直江津行バス)

係山 石山 武

横濱市 三春町 1の21 ← 横濱2-5365



(支部会報) 年間でササギ
新譜を推出せますのも願ひます。

支部上行報告

第一三五回 丹沢・ワズハ次

〇月〇日 曜ヨリ晴ヨリ

参加者

熊谷幹夫(筆) 国野昌 吉岡信子
鎌木国之 石山武 石田重留

次和子

他〇名

コースティル 横堀(6.30) 大委野ヘアリ

8.25 善景入口(8.30) ワズハ西華(

9.10) 駐士町ヘ庵(8.30) 三ノ

塔(9.5) 駐士町橋(9.10) ヤ

ヒツ跡(9.10) 大委野(9.10)

大委野駅前で参加者を確認し、皆西吉タバ

スに来車。支度整ひのる、本音参音見ゆ、皆

凶名のベニテキ。ワズハ西莊の河原で自己紹

介し、次第リの準備ととのひて旅行に入る。水黒と又変つておもしろみがあった。水をか

本音がらすを仕合ふく。ミケシ御正門が

253人づ車で面倒をみて。最初口達らし

日本車も尾車す平仄音が、横向、通を過

れる頃、どう運転して登る轍に立り、やっと

渾行是分が味える。人が多く詠う轍に進むる
がト下が、モれでも先頭グレープヒ最期の人
との向はあまり序かほりですん。富士形ノ
轍の少し左で昼食。昼食后、ガレの落石をマ
リテ左の草付に取りつく。途中ズミ、塔屋根
の道に出ると、もう危ひ壁リはなく万ソ、だら
だらと通上へ。ミ、塔ガラ塔の岳への展望は
ガスがかかるて見て見えるか、だが、大山は
雲海の上に出て高く感じた。輪を作リ歌
を歌わせヨリ、ギトムを乗じんぐから下、た
□□

告知板

◇ 9月山行、西穂高岳がありましたが、祭りの都合で中止に至りました。

◇ "レーダー"の原稿お願ひします。紀行、ガイド、詩、らくがき、カット総、マンガなど

山に多少関係あるものどう向いてもけっこうですから全員の投稿を。ほどテーマを与えられた人は出来るだけそれに添って下さい。

◇ 10月4日、18時より千代田公会堂でスキー映画上映。①梅池スキー日記 ②星雲の槍ヶ岳 ③スキー・ライダース ④その他会員券20円、希望者は影山まで。

◇ 本部委員会で来年度、各支部合同のキャンプの担当を引き受けました。が、全員の御協力ご成功させましょう。

新入会員

渡辺 勝代

横浜市西区浜松町4の21

行事報告

8月9日	例会 出席者16名 斎藤人会館
8月26日	ナム回山行(クズハ次 参加8名)
9月3日	委員会 全員 小町だいご
9月9日	本部委員会 2名 中央会館

行事予定

9月18日	立山、山行
10月12日	例会

例会
10月12日(水)
18時より 21時まで
注意事項
婦人会館

カ87号

(1)

昭和41年10月12日奉行

S H C 横浜支部

横浜市中区初音町1-19(影山方)
組合 熊谷幹夫

第129回 支部山行

浅向山
(大真名子 変更)

10月 23日(日)夜行日帰り

(雨天中止)

集合 10月22日(土)P.M 8.00, 横浜駅7.8番ホーム
地下道上, 上野発 ~~23.58~~ 発直江津行乗車予定
~~22.58~~

コース, 費用, 携行品はニュースカ86号参照のこと

係り 石山武.

横須賀市 三春町 1の21 <TEL 須賀2-5365>
又は <TEL (68) 0353>
中山一重

2ヶ月ぶりの山行です、紅葉もみごう、
ふるって参加しましょう。

本部会員
年
月
号
で
切
れ
ま
す

10周年記念山行

12月3日、4日、丹沢

委員会でアンケート集計結果をもとにして次のようにむ案をつくりました、どの案が全員で案しめるでしようか。

①(案中)

※宿泊場所

大倉山荘——大倉山荘、水無寮、**福祉山**

問

その他の——七沢温泉、広沢寺温泉

※案中場所

第三三ノ塔、鍋割山、大山

ニキヤンブ

水無川周辺でテントを張り、キヤンブアマイヤ、歌、ゲーム等を楽しみながら、テントの張り方、飯しのたき方、ワラジのはき方等の山の知識を収得する。

新入会員紹介

田中綱代

私の名前は女優の名前と同じ、すぐおぼうれるでしょ！ようしくね！

小田原市本町4丁目2の13

進地千津子

柏の名前をよく見て、漢文式に読むと地を進む、ハイキングにぴったりな名前でしょ！

横浜市中区長者町4丁目43の8、丸山方

行事報止口

9月14日	例会	出席者18名	於婦人会館
9月18日	オ128回山行或向山雨天のため中止		
10月3日	委員会	全員 小町だんご	

行事予定

10月23日	オ129回山行	浅間山
11月8日	例会	於婦人会館

例	会
11月8日	
(火)	
18時～21時	
火曜にもどった	
ので 注意	
婦人会食	

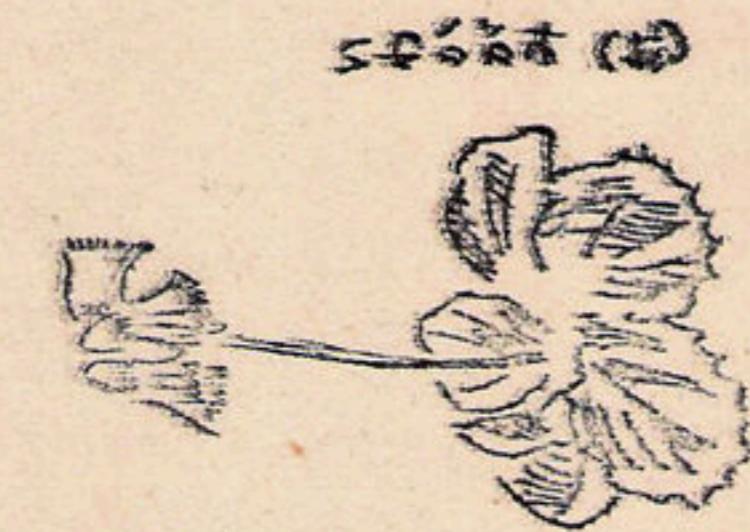
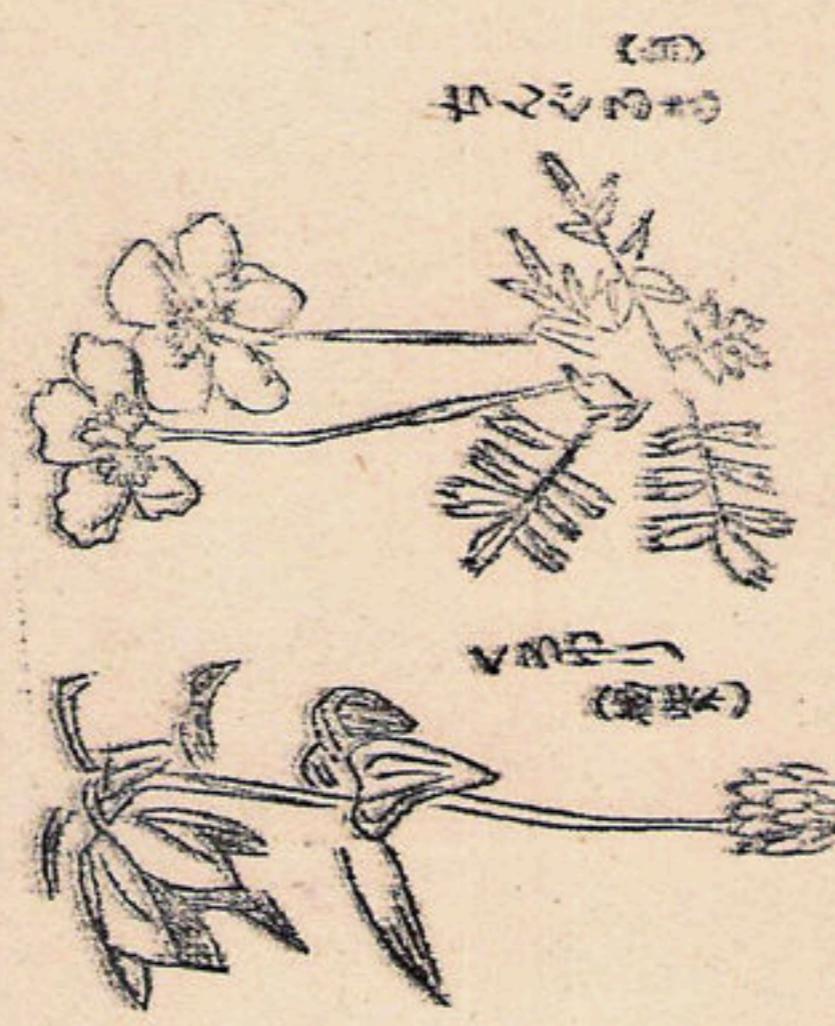
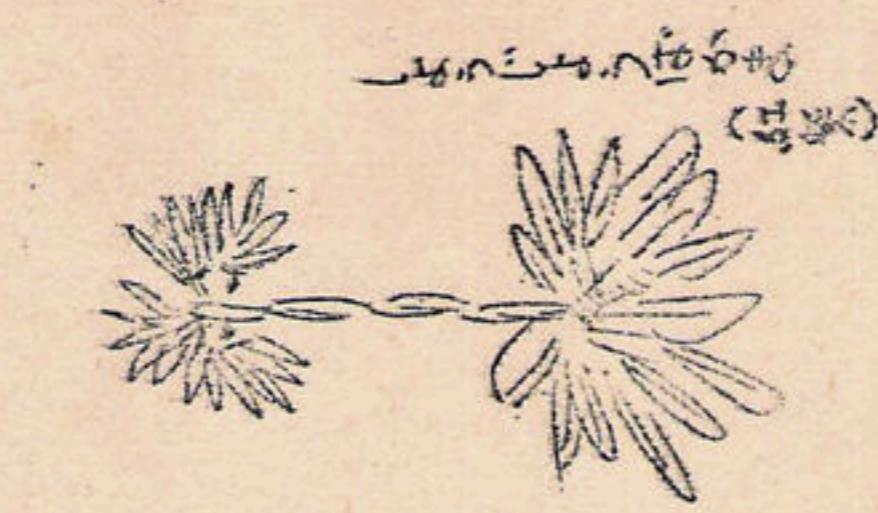
卷之三

高
廣
義

大天井岳	(北ア)	2922・1
蟹羽岳	(北ア)	2924・2
野口五郎岳	(北ア)	2926・3
宝剣岳	(ア)	2935・1
支那岳	(北ア)	2935・2
三峰岳	(南ア)	2940・3
鳥島岳	(北ア)	2945・6
支天山	(木曾井岳)	2956・2
丸山	(南ア)	2965・3
聖岳	(南ア)	2978・3
火仙岳	(南ア)	2980・2
冰晶岳	(北ア)	2990・3
大崩	(北ア)	3000・1
劍魔山	(北ア)	3003・1
前嶺山	(北ア)	3011・1
立山	(北ア)	3015・9
鳶島岳	(北ア)	3025・9
農樂山	(北ア)	3026・3

富士山	(劍白)	3756.8
劍岳	(北ア)	3192.0
雲中岳	(南ア)	3189.3
大崩	(北ア)	3179.5
北嶺	(南ア)	3146.1
東嶺	(北ア)	3120.1
中嶺	(北ア)	3100.1
前嶺	(北ア)	3100.1
小堀	(北ア)	3090.2
中堀	(北ア)	3083.1
西堀	(北ア)	3063.1
東堀	(南ア)	3060.1
南堀	(南ア)	3056.1
北堀	(北ア)	3046.9
西堀	(南ア)	3032.7

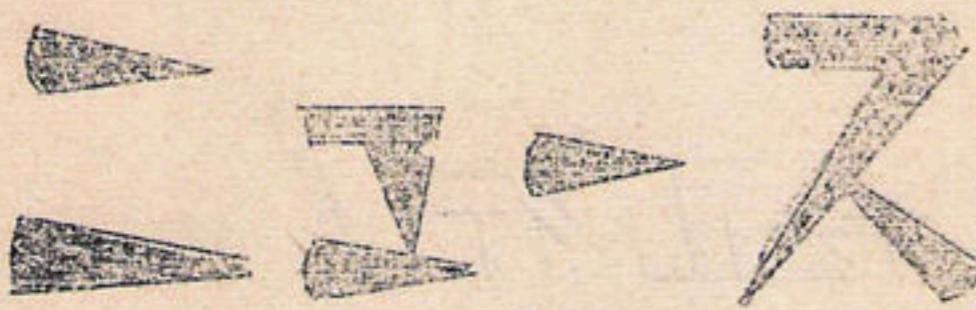
仙丈雪に咲く花
ハハコヨモギ (金毛雲母)
クルママツカケドリ (紫紅)
アツマツヤマササキウバナ (飛葉)
ハシシタクイバナ (白)
ゴゼカネスキレ (黄)
コクハナカクナカ (淡黄)



№88

541. 11. 8 (日) 行走

新ハイキング・クラブ・横浜支部
横浜市 中区 初音町1-19(影山方)
編集者 鈴木国之



オ 130回 支部山行

浜石岳 707.3m - 静岡県 -

11月 20日 (日) 日帰り (晴)

<コース> 横浜 東海道線 由井 - 0.40 - 西山寺
- 1.50 - 浜石岳 - 1.30 - 500m峰 - 0.40 -

由比 横浜

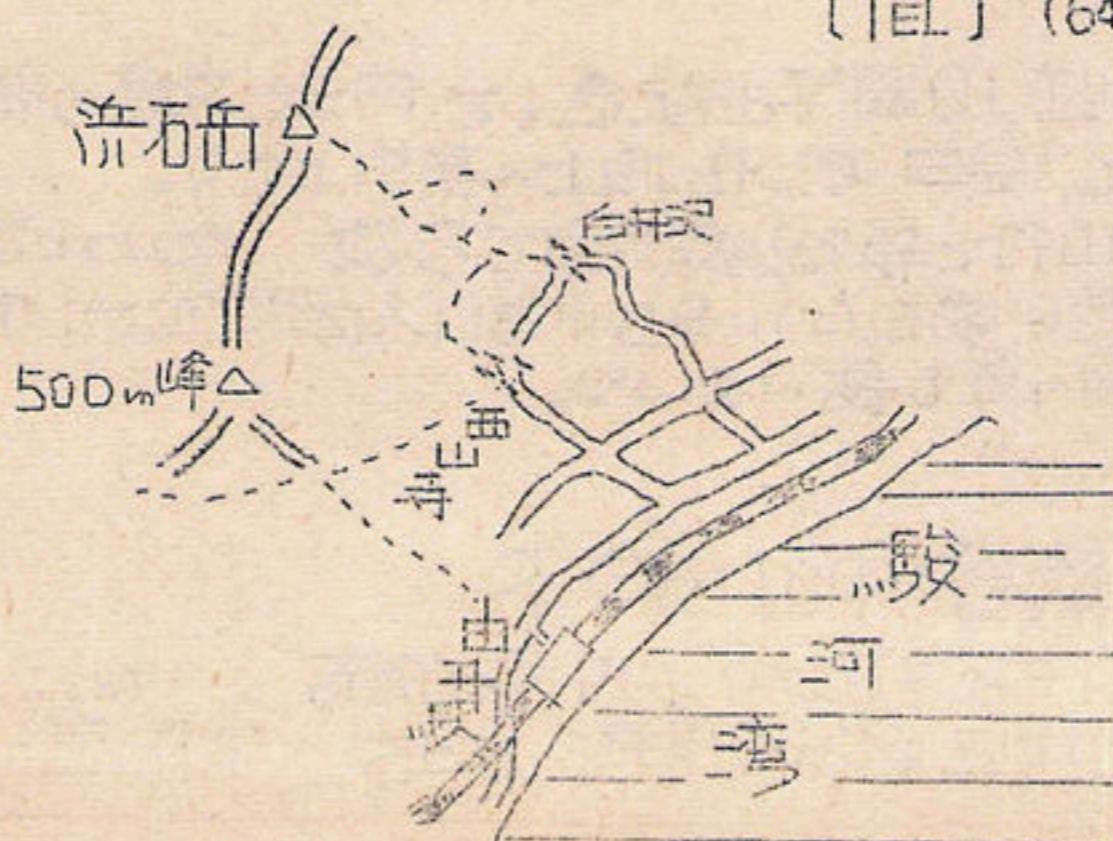
<歩行> 3.40分 (ノンビリムード デイキマス、係り)

<費用> 横浜 —— 由比(往復) 920円

<集合> 11月20日(日) 横浜駅 5・6番線ホーム 地下道直上
乗車予定列車 5時49分 横浜港 (向い合ウヨウニ集合)

<装備> 弁当、雨具、防寒具、その他一般ハイキング用品。

<係り> 三井俊明 横浜市 中区 山手町206
[TEL] (64) 4432



[地図] 5万分の1 吉原

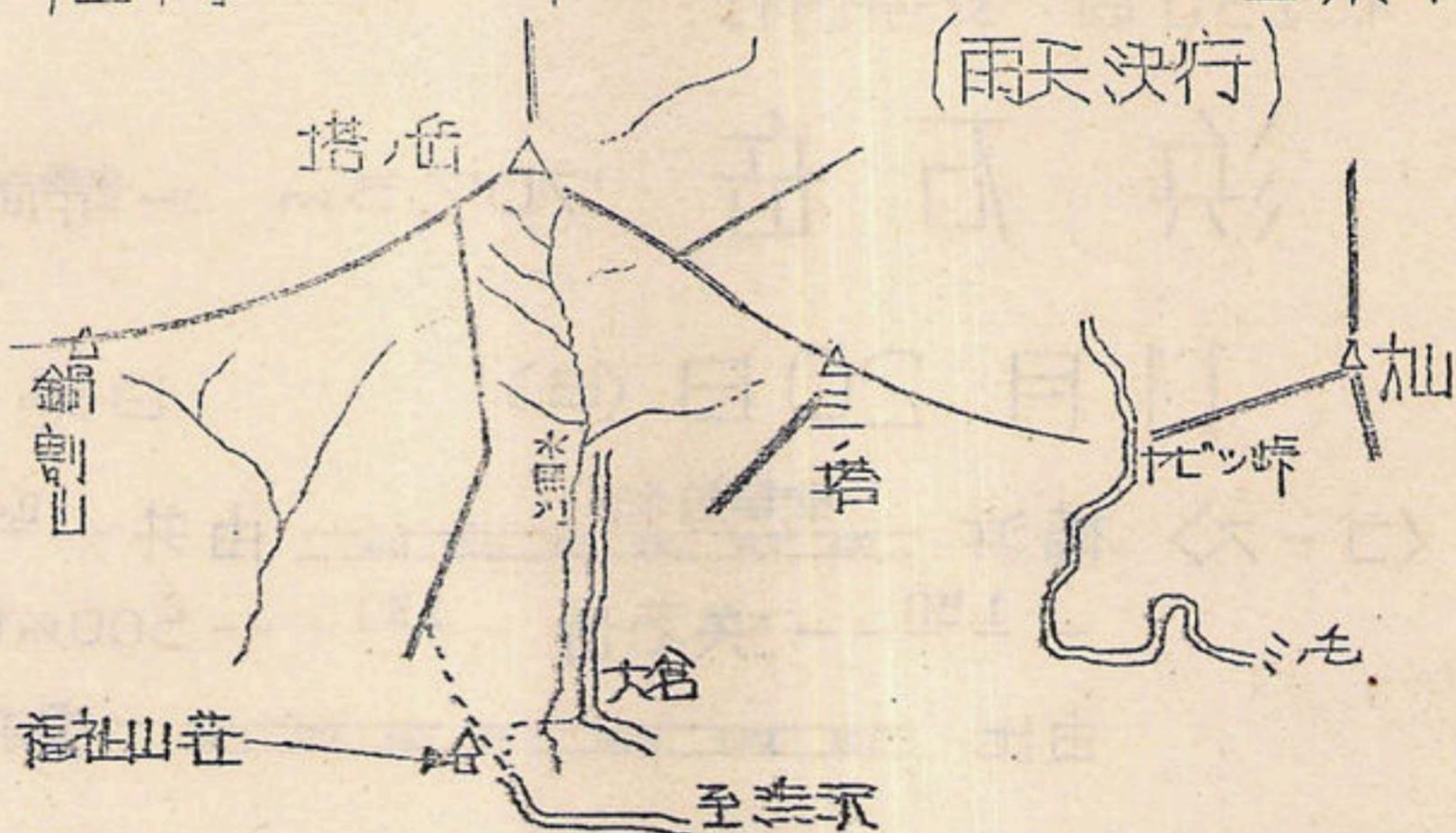
「かにと駿河湾ヒ
富士の展望の山」

オ131回 支部山行

10周年記念山行！

12月3日、4日 福祉山荘(主)、塔岳集中

(雨天決行)



〈集合〉 12月3日(土) P.m 横浜駅 相鉄改札口前
12月4日(日) P.m ハ

〈打合せ〉 11月28日(月) P.m 7時 小町だんご (火曜前)

〈費用〉 約1000位 (宿泊含)

〈持ち物〉 雨具、ライト、防寒具(マック、セーター等) 他一般ハサシグ用品

支部創立10周年を記念して 丹沢、大倉の福祉山荘に1泊し、翌日 塔岳頂上へ集中します。

普通の山行と異なる祭りで多数 参加します。
なき都合で前日(土)に来られない人は朝立ても可こうです。
古い会員の方も誘います。

〈係り〉 影仙・熊谷・中山・鈴木

〈問い合わせ〉 横浜市中区初音町 1-19 影仙元宵 (23) 3387
横浜市中区伊勢佐木町 2-45 中山一重 (68) 0353

10月の集会で林辰雄さんから植物の分類についてお話を伺いましたが、ここにその一部、ウスユキメウラ屋の検索表をのせます。参考に!!

植物の分類
(検索表)

すべて舌状花
葉・茎を切ると
白い液がでる
へんほほ垂れ

冠毛は基部が環状に
くつつく
ハウスユキソウ属

④ 基は高さ6~15cm頭花4~10cm
そら果は長さ1~2mmで毛がある
ヘミヤマラヌユキソウ(ヒナヌユキソウ)
④ 基は高さ6~15cm葉の巾1~3mm
ヘホンベヒナヌユキソウ
④ 基の高さは4~7cm頭花2~3mm
コロヘヒナヌユキソウ
ヘコマヌユキソウ

冠毛は一本つつはなれる
(ヤマハコ屋)
へおぐるま族

- スユキソウ属

① 基は全て葉のび、茎には多く
の葉がある。根生葉は花が咲
くとき縮むヘウスユキソウレ
ン老をつけた基だけのびる。基
には少數の葉がある。… ②

② 基葉の基部はいちじるしく縮
くなつて鞘とならない

スキー ガイド

A、交通費よりみたスキー場（バス代不含）

(4) 二千円以上

ハ方尾根スキー場（2300）
柏池高原スキー場（2300）

(1) 千円以内
□設湯本スキー場（880）
□設鶴頂山スキー場（900）

(2) 千円～千五百円以内
那須スキー場（1220）

戸倉スキー場（1060）

万座、草津スキー場（1220）
天神平（1280）

中里スキー場（1440）
石打スキー場（1500）

菅平スキー場（1360）
霧ヶ峰スキー場（1300）

白樺湖（1440）

千五百円～二千円以内
岳スキー場（1880）

(3) 猪苗代、裏磐梯スキー場（1940）
六日町温泉スキー場（1580）

志賀高原（1980）
赤倉、妙高（1880）

B、温泉水のあるスキー場
草津、万座スキー場
湯沢スキー場

志賀高原
□設奥日光湯本スキー場

那須高原
岳スキー場
蔵王スキー場

C、ツアードできるスキー場
草津、万座スキー場
志賀高原
岳スキー場
菅平スキー場



支那山行報告

オ129回 義向山 10月23日 晴

参加者 石山、武(し)、中山一重(SL)、龍谷幹夫、

鈴木国之、石井春夫、石岡康昭

相野昌喜世子、加藤

他5名

コースハイル 横浜(8・15) 上野(22・5) 小諸(3・46～6・20) 義向山荘(6・25～7・10) 火山館(9・10) 湯ノ平(9・15～9・15) 義向山頂(11・20～11・30) 前掛山分岐(11・30～12・20) 天狗の滝(12・20) 石尊山(12・10～12・20) 追分駅(12・28) 軽井沢(12・18～12・25) 上野(20・24)

久しぶりの冬に恋まれ絶好の登山日和である。山莊を後に橋を渡ると山道に入る。紅葉にはまだこし早いけれど朝日に輝く山がとても美しい。林を過ぎてすぐ二の鳥居に出で、これより落葉松林の中を登る。登るにしだがって遠くハガ岳、蓼科山が見えても良い是空、これより右に才山、丘に釣鐘岩を過ぎてしばらく行くと、鳥居をくぐると火山館に

着く。ここからすこしひで箱庭のよう広がる音の火口原、湯の平高原に出る。

上を見上げると黒班が朝日に輝き雄大な眺めで、しばらく展望を楽しむ。向山の登りにかかる、登るにしたがつて雲の向から新雪を冠した北アルプス連山が顔を出レする。ばらしり眺めである。義向の山頂に着くと寒さと噴煙にならやまとれてすぐ下山。前掛山の分岐にて昼食、雪合戦をして楽しみ前掛山に向う。前掛山から急な斜面を下り原生林を抜けると天狗の滝に出る。附近にある原生林は切り倒されて昔の面影はなく、左に義向正眺の名がる石尊まで一直線の下りにかかる。石尊まで最後の展望を楽しみ時空がないので急いで山を下り追分に向かう。途中車に乗せてモラいどうにガ時間ギリギリに追分駅に着いた。急いで電車に乗り込み町ほつとする。 石山 観



例会による

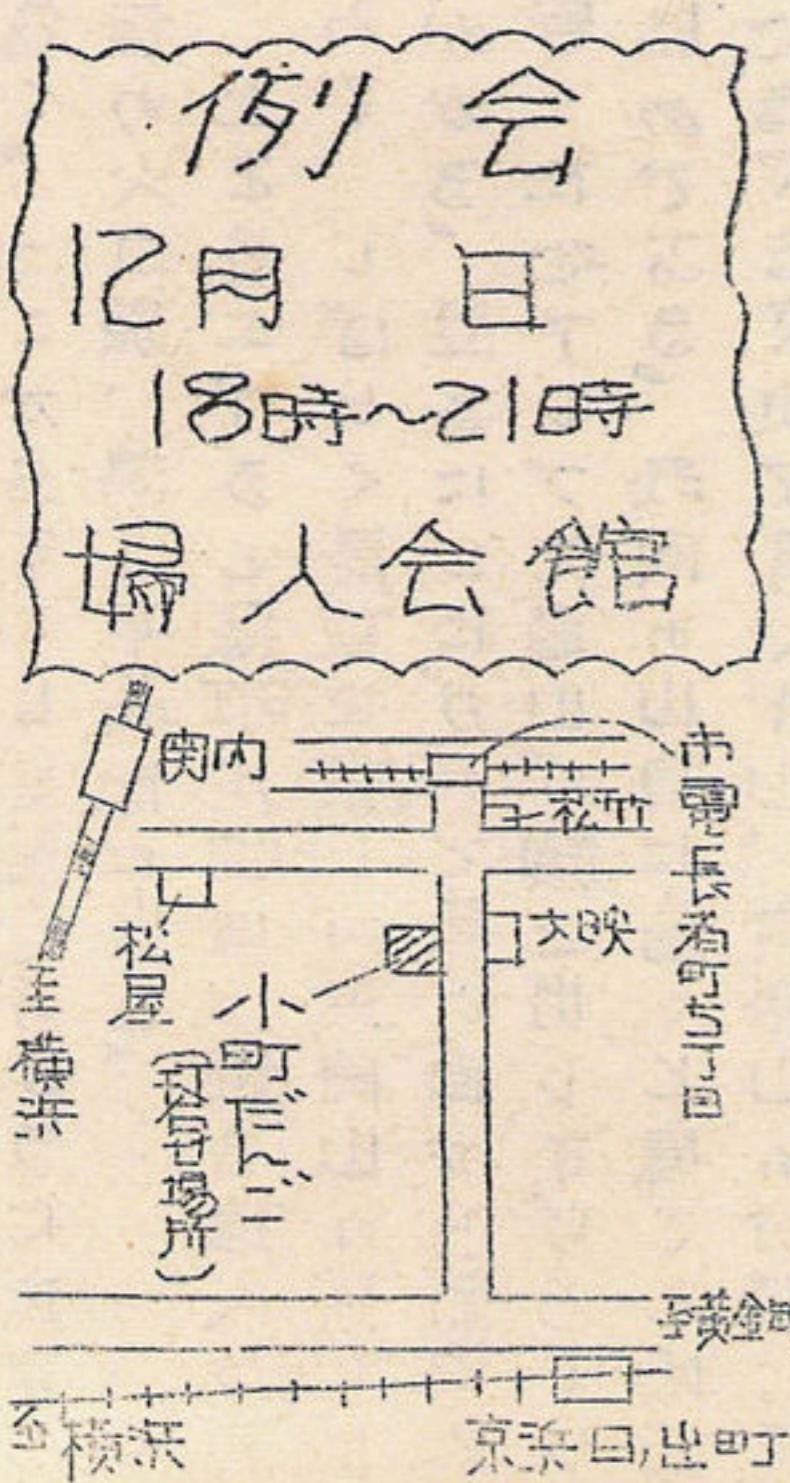
△10月例会に本部の林辰雄さんから高山植物についてのお話と標本、スライドを見て、あらためて高山植物の美しさに魅せられた。

行事報告

行事予定

△新雪の日よりも断片れ、遭難の時レニコ一
スも流れる今日この頃ですが、初冬から初
春までは静かな山が味えます。寒くはり家
にこもり、ガラガラ支那山行には御参加を

神奈和雄（SHOHEI NAKAYAMA）
广塚区平广町二、三五番十四号



オ 89 号

(1)

S41.12.13 発行

SHC 横浜支部

横浜市中区初音町1-19(影山方)

編集者 熊谷幹夫

オ 132 回 支部山行(本部担当山行)

丹沢 大野山 723m

1月8日 日帰り(雨天中止)

<コース> 横浜 → 東海道本線 → 国府津 御殿場線
山北 - 1.10 小学校 - 0.50 水場 - 0.25
大野山 - 1.20 谷城 --- 国府津 ---- 横浜

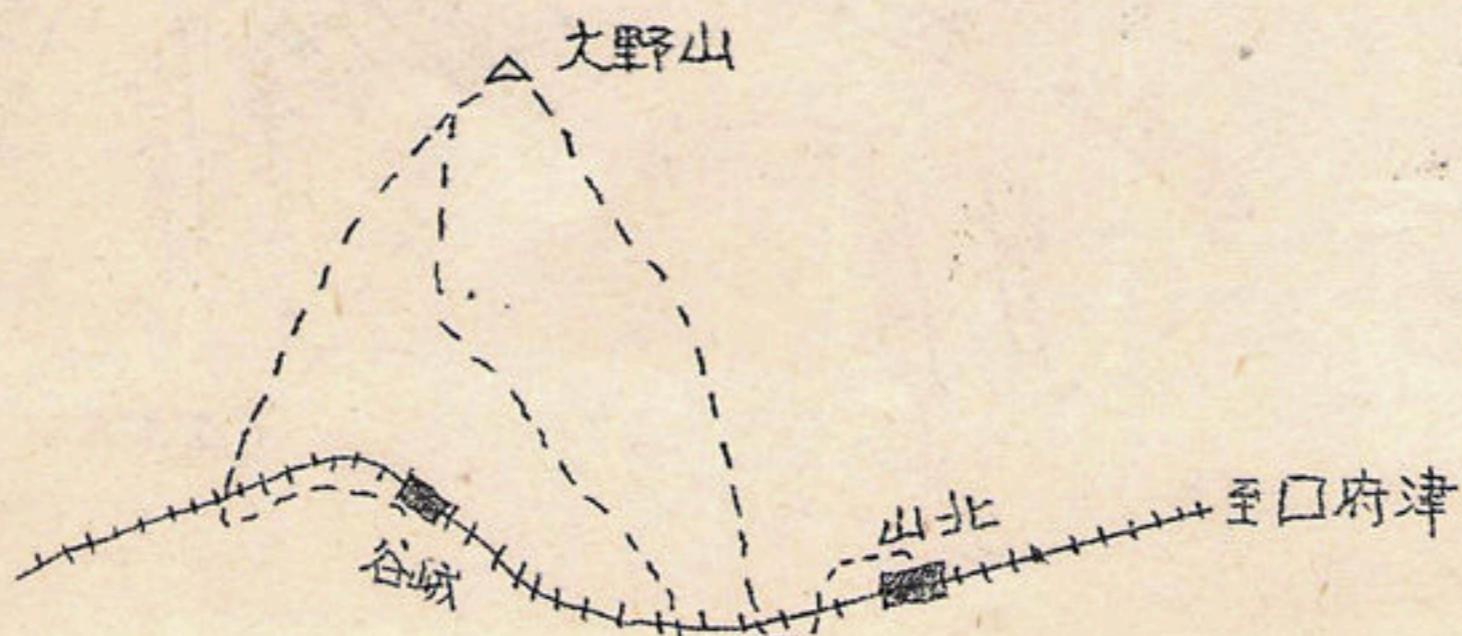
<費用> 約 600 円

<集合> 1月8日(日) 横浜駅5・6番ホーム 地下道上
時 分

<装備> 弁当、雨具、防寒具、その他一般ハイキング用品

<係り> 中山 TEL 横浜(68) 0353, 鈴木

本部山行担当なので多数の参加を希望します。



第133回 支部山行

音 平入キ一

2月 4_(土), 5_(日), 6_(月) 日 2泊 3日

〈交通〉 上野 信越線 上田 バス 1・15 管平スキーフィールド
5:00 (普通)

〈費用〉

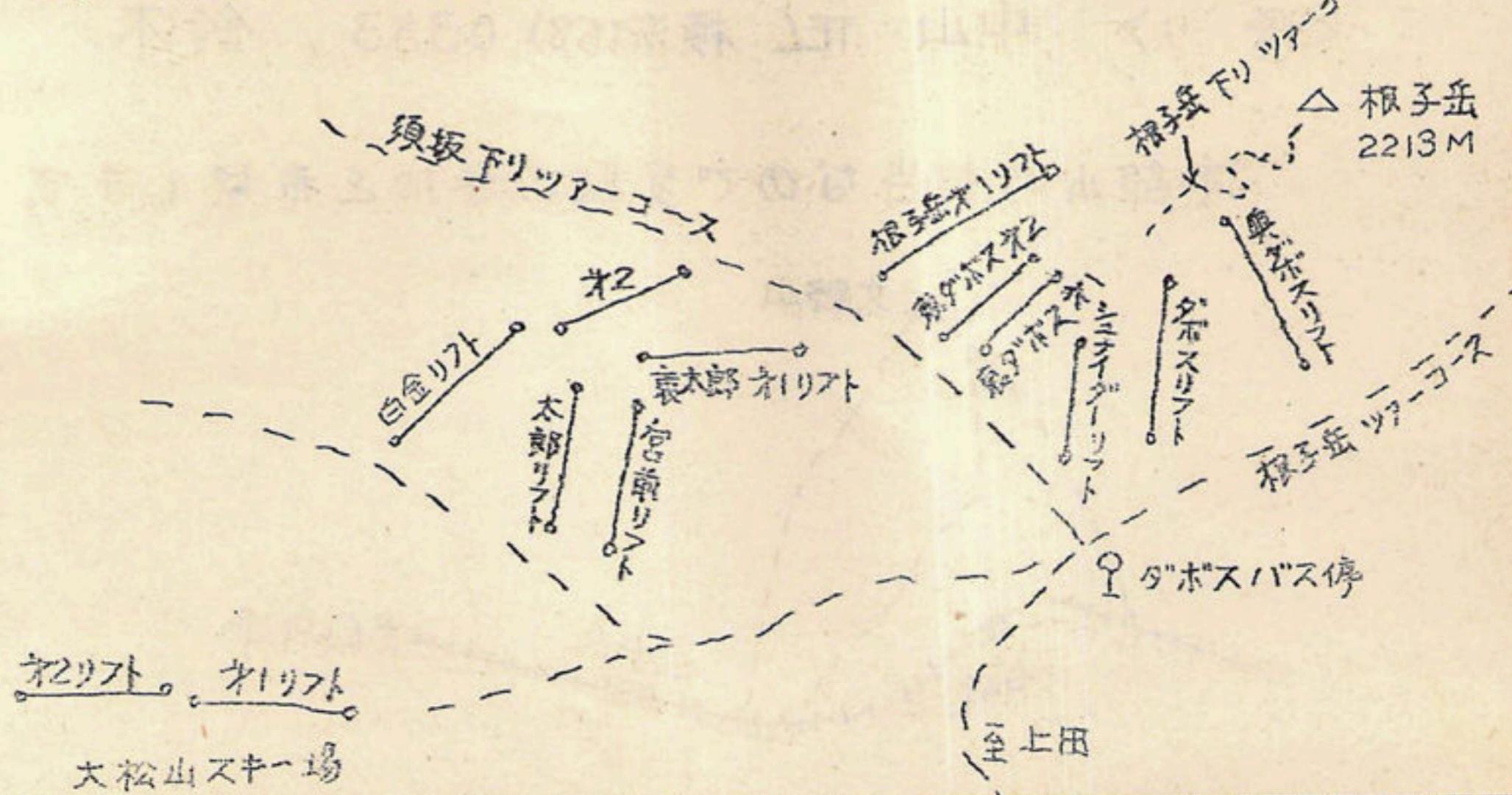
上野 ←→ 上田	1360 + 200(急行料金)
上田 ←→ 菅平	360
宿泊費	2000
	3920 円

〈貸スキーキー、靴〉 スキー 1日 300円～500円
靴化 ツ 200～350円

〈係り〉 熊谷幹夫 港北区大曽根町585

〈申込〉 今年中に係まで

尚、集合時間場所、列車時間は次のニュースでお知せ致します。



丹天

十周年記念・忘年山行

塔・岳集 中

(一) 忘年会

丁々ivativeで福祉山荘につくと先発組は早やアルコール入りでワイワイ。21時30分頃に全員集合。早速忘年会を始める。

春日俊吉氏、近藤素化の懇入り参加もあり、スキ焼ヒ御酒入りで歌ったり踊りたり、夜のひけるのも忘れるほど。宴会が終るとスライド上映。以外ヒフレムの再参看が少なくアツヒ言うまに終り。寝床は1時。

昨年は寝空がら日の出をみたが今日はみられない。二年続いて不精はやはりできぬものだ。朝食事に、兼野、春日、近藤の三大家はお茶代りに向神さんのむこうるおしていった。

(二) 水無川本谷

日時に山莊を出発。大倉尾根班は浅井君一人。山頂で打込長い長い棒をかつぎ弁当をぶらさゆて行

くの区笑いで送る。

水登り班は一度下まで下り、竟天キヤンブル場で老人3人組と別れ、林道をテ天出合まで歩く。寝不足で足がもじついている人が多し。途中大倉尾根で長い棒を張つていた表井君に呼びかけにり、もともと歩いているうらになんとみ長い単語を林道を終り、テ天に着く。源次郎沃出合まで行き一休み。

ここで源次郎班の8名と別れ、本谷班7名は湘行始。

西原をしばらく行くと10時のF1がニ条に落ちる姿を見せる。左側の階段状を肆く登るとすぐ右から背戸の次が合流し、本谷は左へすぐ5時のF2にかかる。せ姓は身軽にとサツフ走とりあがる。木一リド付少しが左側を越ける。F3は事故多い所。慎重に登りスリル満喫のトラバースをする。沃は小達を越しF4、F5、と軽くバス。大分自信がついたようであ調、だが寝不足でやりきれない。F6も堅く過ぎると3字抜にゆるく曲る右岸から二段30段の廻柵をかけたサ源次郎沃が合流。あたりは以前より大分明るくなつていて。サイルワーカを少し見物。木の又大日沃を右に見て行くとF7。更に小達を越

えると金冷し沃出合。ここで昼食。

「源次郎班は棲線についただろか」

「棒を持った彼はどこからで昼寝をしている」「ろうしなどが話題となる。

トヨの大達は木が少ないが堂々たるものだ。左の巻道を登り落口に下る。高度感もあり眺めもよい。こ

れから沢は水量もなくなりふし沢となる。涸れたの下りを越え急なカレ場を落石に注意しながら登ると、駒ヶ岳までは新雪で白くなつた道を行く。

13時山頂着。大倉尾根、源次郎班の誰もいよい。我々の方が早かったのだ。富士がかすんでみえるが景色をみると寒いので山荘に入り一服。待つこと30分やつとのことで源次郎班が到着。しかし記念の棒が来ない。「花立あたりで寝ているのでね。片時まで待つて乗せかつたら下る」と言つて、同時に「寝過ぎちゃつてし」とやつと登つて来た。

厚生省の人々が来ると抜かぬると言わぬが、せつかり持つて来たのでヒヤー周年記念、塔ノ岳集中新ハイキングクラブ横浜支部」と書いた折込全員交代で打込む。支部に入つて1年でもう10周年に卒つてよく暮らる人がいるらしい。これを越えるとあと

まだ久きう人もいにぶ……

記念撮影後ドロシコの大倉尾根を下つた。

御老休組は堀山あたりまで登り小屋で一杯やつて下つたとか。飲むと語予よく歩けると言つた人達なのでどうとう追いつかなかつた。

(3) 源次郎沃

源次郎沃出合で本谷ペーテイヒ別山、我々8人はゴーロの道を行きトヨでリーターナルより、沃が初めてで」と言つた人に沃の登り方を説明してもらつ。あつかなびっくりの人ちいれ、こんばんはアサメシマエダと言つた人もいてトヨ、トヨこと撫車バスする正面左から大モロがしが押し出して、あ圧りのあちこちに、白いものがちらちらする。何かと思ひよく見ると雪である。

前方をみるとこの沃最大トヨ、10倍の大樹が大手をかまえている。直登ルートは左手である。木一株が少なかつたが撫車バスしつが、大部分の人は左側の巻き道を行く。沃はこの上部で二股に岐れ、我々は右股に行くとすぐ右股の柵にぶつかる。この柵でよく暮らる人がいるらしい。これを越えるとあと

せた。しかし神も曰く、人の相手を前で食食とする。ま
た、口に口をあびながう。一瞬を過へて、口のを開氣を
もつしては、口を口にせしめたり。

この深次郎の上部は天登りと言ふより、若登りと
言つて感じで小気味よく登れる。頭上が大今鞠けり、
疲れた頃頭で、廣段上の道となり疲れ足を高く
上げねばならぬいづらさは全くいやになつた。皆やせ
ぎれつらい愚いをしながら登つて行く。大倉尾根に
出、花立で一休みの後、岳に向つた。山頂には本
谷ペーティが先につけて立てて出迎えてくれた。

^④入參酒着
影山元芳、^⑤鈴木國之、石山道、石井春男、渡辺顯代
田中緝代、神谷利雄

ヘコースタイル 次郎

春次部未出合（9:45）—二撮今坂（10:55 10:40）—
辱食（11:15 3 11:40）—猿猴（12:50）—花立（13:00）—
一葉（13:30）

。今日の森次郎次で自信をつけたが最後のつめでま
いた。

。次は始めてでおもしろかフニ
シくにびれた

。今日せ荷物がなかつてのび樂で一月
。本日の清六の冷蔵かつてこと

K T H
· . ,
T W I
) v (

人参加着V
浅井俊明、

大倉尾根

人参加着、
浅井俊郎、井野条治、菅原一郎、中川一利(左近の事)

・三年前の沃登リより面白味があり、下りのひとか
フ巨ことノ

・大倉屋根を長い棒かついでエツキラエツキラのぼ
り、下りは同じ道とのんびり下フニ。一年振りの舟
沃は左かなつかつた。

・木撫の林道でアゴを出し、終日アゴが出来てしまし

・サイルカはきがみらんでよかつたが、沃登リの講
義はいくらうながつても、力の運動が恩ラモラに効
かないものですね。

・沃は二回目、こちらより面白く感じるようにな
フニ。山へ登つて山を眺つてはいた。これで明日から
仕事がベリベリできる。

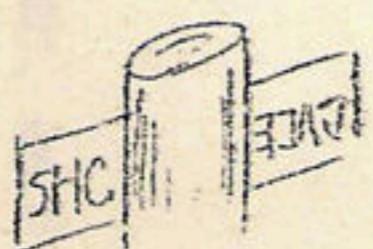
・昨日ファイトを懸々とすが、今日はぜんぜん不調

・くにびれにお陰で非常にお茶がうまかつた
・若り人にはちよつびりもの下り安いねヘヨシ

・三年振りの沃登リ、海水とスリレで震え
・泣き止いほどに奥にまつたく疲れまー

・登リはスルスル下りは左クカフ

(T.O)



支部山行報告

参加回 湘石岳 11月20日

武・石井春男・町田康子・渡辺麻代・
田中綱代・神谷和夫・今川勝子・他名

コースタイム

横浜(5.49) → 由比(8.31) → 富士見平(9.35) → 一本松(10.

25.10.45) → 湘石岳(11.15.13.00) → 小島崎(13.30) → みかん小屋(14.00) →

由比(15.25.16.43) → 横浜(8.45)

早朝5時、暗い空に星がいゝばり、久しぶりに

由比駅から東海道を少しもどり、左に曲つてみかん

畑の中の道を登山の途につく。登るにつれ傾斜

は急峻を加えるがそれだけ展望もひらけてくる、

みかん畑を過ぎると富士見平の展望台だ・富士・

雲海の眺めが良い。熊笹の小径をあえぎながら登

ると一本松の景勝地に達する、こゝは気持のよい

草原で目の前に駿河湾、その向うに伊豆の達磨山

天城山など連なり眺めがよい。

草原特のよい茅戸の中を登つて行く。登るにつれて

アルアスの連山が目に入る。もう頂上だ、

頂上は広い茅戸の原で360度の展望はすばらしい。
ここで、のんびり喫たり、ゲームをしたりして
過した。

帰路は南西に走る尾根を降りる。急なやせ尾根だが駿河湾や清水港を見下ろしての下りは気持ちがよい、小島崎から左へ荒れた急な道を30分ほど下る
とみかん小屋にでる。こゝよりみかん畑の道を由比駅に向つた。(石井記)

告 知 板

◇横浜支部担当の各支部合同キャンプは

*来年8月下旬～9月上旬

*丹沢水無あるいは寄

*実行委員を選出する

全員で協力し、成功させよう。

◇12月3、4日10周年記念山行は晴天に恵まれ
、多數参加し無事に終りました、皆様の御協
力を感謝致します。



良いお年をお迎え下さい

◇ あちらこちらから雪の便りがきかれ、いよいよスキーシーズンとなりました。天神平、湯沢高原、万座、相池、八方尾根ではもうスキーが可能ですが、滑る前には必ず準備体操をして怪我のないようにしましょう。

◇ 今年ももう残すところ2週間余、今年のニュースを読んでみると、支部山行の参加者が例年に比べ多く、また、本部山行も2回行い、非常に盛況であったようです。来年も今年と同様皆さんで楽しく山に行こう。

行事報告

行事予定

11月8日 オ132回山行
11月10日 例会

丹沢大野山
婦人会館

11月20日	オ130回支部山行	出席者14名	婦人会館
11月28日	オ131回山行田沢塔集中打合せ	参加者10名	小町
12月3・4日	オ131回山行丹沢塔集中打合せ	出席者19名	

例会
一新年会一
1967年
1月10日
(火)
18時～21時
婦人会館